

# 官報

號外

明治四十四年三月一日

水曜日

印刷局

## ○第二十七回 衆議院議事速記録第十七號

明治四十四年二月二十八日(火曜日)午後一時十九分開議

議事日程 第十六號 明治四十四年二月二十八日

午後一時開議

質問

一 外國貿易殊ニ對東洋貿易ノ擴張ニ關スル質問(武田眞之助君提出)

二 米國官憲ノ在布邦人ニ加ヘタル不法行為ニ關スル質問(田千軍之助君提出)

三 陪審制度設立ニ關スル質問(松田源治君提出)

四 危險思想防止策ニ關スル質問(村松恒一君提出)

五 正金銀行營業業務監督ニ關スル質問(水野正己君提出)

六 言論出版ノ自由及藝術ノ取締ニ關スル質問(關和知君提出)

七 所得稅法中改正法律案不提出ニ關スル第三質問(守屋此助君提出)

第一 鑛業法中改正法律案(政府提出)(族院送付) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第二 森林法中改正法律案(請願委員長提出) 第一讀會 第一讀會

第三 行政裁判法中改正法律案(宮古啓三郎君提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第四 衆議院議員選舉法中改正法律案(東武君提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第五 國有土地森林原野下戻申請期間ニ關スル法律案(齋藤三郎君提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第六 砂糖消費稅法中改正法律案(三土忠造君提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第七 裁判所名稱及管轄區域變更ニ關スル法律案(河野郁太郎君提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第八 大湊開港ニ關スル建議案(齋藤三郎君提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第九 鐵道速成ニ關スル建議案(田中定吉君提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第十 高等染織專門學校設置ニ關スル建議案(武藤金吉君提出) (委員長報告)

第十一 全國荷造改良共進會開催ニ關スル建議案(藤遠吉平君提出) (委員長報告)

第十二 高層氣象觀測所設置ニ關スル建議案(根本正君外一名提出) (委員長報告)

第十三 鐵道建設ニ關スル建議案(阿部鐵三郎君外二名提出) (委員長報告)

第十四 特別報告第六十八號(志士ノ恩典ニ關スル請願) (委員長報告)

第十五 特別報告第六十九號(青森港ト樺太及釧路間定期航路開始ノ請願) (委員長報告)

第十六 特別報告第七十號(日本海橫斷航路開始ノ請願) (委員長報告)

第十七 特別報告第七十一號(日露戰役城津被害民救済ノ請願) (委員長報告)

第十八 特別報告第七十二號(庄内川改修ノ請願) (委員長報告)

第十九 特別報告第七十三號(御物川改修工事速成ノ請願) (委員長報告)

第二十 特別報告第七十四號(借地權救済ノ請願) (委員長報告)

第二十一 特別報告第七十五號(郵便局位置移轉ニ關スル請願外一件) (委員長報告)

第二十二 特別報告第七十六號(郵便局設置ノ請願) (委員長報告)

第二十三 特別報告第七十七號(津清會寧間鐵道急設ノ請願) (委員長報告)

第二十四 特別報告第七十八號(釧路網走間鐵道敷設ノ請願外一件) (委員長報告)

第二十五 特別報告第七十九號(釧路網走間鐵道敷設ノ請願) (委員長報告)

第二十六 特別報告第八十號(地方稅制限法改正ノ請願) (委員長報告)

第二十七 特別報告第八十一號(本坂峠開鑿ノ請願) (委員長報告)

○議長(長谷場純孝君) 是ヨリ諸般ノ報告ヲ致シマス

(書記朗讀)

一 政府ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

市制改正法律案

町村制改正法律案

在外指定學校職員退隱料及遺族扶助料法中改正法律案

市町村立小學校教員退隱料及遺族扶助料法中改正法律案

府縣立師範學校校長俸給並公立學校職員退隱料及遺族扶助料法中改正法律案

帝國學士院學術獎勵金特別會計法案

樺太ニ於ケル漁業免許ノ取消及漁業料ノ徵收ニ關スル法律案

問島ニ於ケル領事官ノ裁判ニ關スル法律案  
一政府ヨリ左ノ質問ニ對シ答辯アリタリ  
衆議院議員澤來太郎君提出治安取締ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯書差進候也  
明治四十四年二月二十八日

衆議院議長長谷場純孝殿

内閣總理大臣侯爵桂太郎

(別紙)

衆議院議員澤來太郎君提出治安取締ニ關スル質問ニ對スル答辯書

一 凡ソ國家ノ現狀ヲ破壞シ社會ノ秩序ヲ紊亂セントシ其甚シキニ至テハ國家ノ存  
在ヲ否認セントスル者ニ對シテハ其社會主義ト稱シ無政府主義ト稱シ又ハ其他  
ノ名稱ヲ以テスルニ拘ラス國家ハ自衛ノ道ニ出テサルヲ得ス如何ナル者ヲ社會主  
義ト爲スヤノ學說上ノ定義ハ政府之ヲ決定スルノ必要ヲ認メス而シテ個人ノ境  
遇ニ依リ危險ノ思想ヲ抱クニ至ル者往々之アルヘキヲ以テ政府ハ銳意畫策民  
間ノ協力ト相待テ漸次社會改良ノ效果ヲ收メシコトヲ期セリ但我國既往ノ  
經驗ニ徴スルニ好奇心ニ驅ラレテ謬說ニ心醉シ終ニ惑フテ覺ラサルノ類殊ニ多  
キヲ認ム政府ハ將來益々教化ニ力ヲ致サント欲ス健全ナル思想ト危險ナル思想  
トノ鑑別標準ハ公共ノ安寧秩序ト相容ル、ヤ相容レサルヤニアリ危險ナル思想  
ノ傳播ト危險ナル思想ヨリ生スル行為ハ其由テ來ルノ原因如何ニ拘ラス公共ノ  
安寧秩序ヲ保持スルノ職責上已ムヲ得サルノ程度ニ於テ質問者ノ所謂防止又  
ハ矯正ニ必要ナル措置ヲ取ラサルヲ得ス之ヲ取締ヲ實行スルハ決シテ人權ヲ蹂  
躪スルモノニ非ス非立憲非文明ノ處置ニ非ス國際上何等愛フヘキ影響ヲ來ス  
ノ虞ナシト認ム

二 出版法第十九條ノ處分ヲ爲スノ權限ハ出版ノ當時ニ限局セラレ、モノニアラ  
スシテ發行二日前ニ納本セシムルハ取締上ノ便宜ヲ計ルノ規定タルニ過キスト信  
ス從來發賣頒布ヲ禁止シタル文書圖書ハ其內容ヲ調査シ社會ニ及ボス影響ヲ  
稽ヘ安寧秩序ヲ紊亂シ又ハ風俗ヲ害スルノ虞アリト認定シタルモノニ屬ス其處分  
ハ違法ニ非スト信ス而テ處分ノ結果財產上損失ヲ受クル者ヲ生スルハ已ムヲ得  
サル所トス取締上處分ノ要否ハ人心ノ歸嚮ニ察シ之ヲ決ス時勢ノ推移ニ伴ヒ  
其處置ヲ同クセサルコトアルハ已ムヲ得サル所ナリ而テ廣ク世間ニ流布セス民心  
ニ關繫スル所大ナラサルモノニ至テハ其著作印行ノ年代ニ拘ラス發賣頒布ノ禁  
止ヲ敢テセサルコトアリ政府ハ取締上ノ必要ニ依リ已ムヲ得サルノ處分ヲ爲スモ  
ノナルニ付安寧秩序ヲ紊亂シ又ハ風俗ヲ亂スノ虞ナキモノハ之ヲ不問ニ付シ力メテ  
言論出版ノ自由ヲ尊重セリ

明治四十四年二月二十八日

内務大臣法學博士男爵平田東助

一議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

地租條例中改正法律案

提出者 大西五一郎君

明治四十一年法律第三十七號中改正法律案

提出者 大西五一郎君

一 去二十五日議長ニ於テ選定シタル委員左ノ如シ  
(左ノ報告ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス)

冷蔵事業保護ニ關スル建議案

三浦 覺一君 原岡 永江君 安藤 新太郎君  
江 原 節君 吉田 虎之助君 藏原 惟郭君  
關田 嘉七郎君 村田 虎次郎君 堀谷 左治郎君  
平小名濱間鐵道建設ニ關スル建議案

長 晴 登君 柏原 佐源太君 鷺田 十三郎君  
戸狩 權之助君 川村 曄君 平島 松尾君  
加藤 正英君 佐藤 貞雄君 堀江 覺治君  
一地租條例中改正法律案委員關田嘉七郎君辭任ニ付キ其補闕トシテ津久居彦  
七君ヲ議長ニ於テ選定セリ

一 商法中改正法律案委員與繁三郎君辭任ニ付其補闕トシテ横山地太郎君ヲ議  
長ニ於テ選定セリ

一 委員長及理事左ノ通り當選セラレタリ

冷蔵事業保護ニ關スル建議案委員會

委員長 三浦 覺一君 理事 吉田 虎之助君  
平小名濱間鐵道建設ニ關スル建議案委員會

委員長 戸狩 權之助君 理事 堀江 覺治君

(左ノ質問書ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス)

外國貿易殊ニ對東洋貿易ノ擴張ニ關スル質問主意書  
外國貿易殊ニ對東洋貿易ノ擴張ニ關スル質問主意書  
右成規ニ據リ提出候也

明治四十四年二月九日

提出者 武田 貞之助

贊成者 竹内 清明 外二十人

外國貿易殊ニ對東洋貿易ノ擴張ニ關スル質問主意書

一、政府ハ貿易ノ重要機關タル被保護銀行ノ現時ノ狀態ヲ以テ我カ貿易當事者ニ  
充分ナル援助利便ヲ與ヘツツアルモノト認ムルヤ

二、政府ハ多大ノ補助ニ浴スル被保護汽船會社カ我カ帝國ノ貿易業者ニ適切有  
利ナル實益ヲ與ヘツツアリト認ムルヤ

三、政府ハ在外領事ヲ易置スルコト奕棋ノ如シ斯ノ如キハ外國ニ其ノ例ヲ見サル而  
已ナラス實益ヲ擧ゲ得サルモノト信ス政府ノ所見如何又政府ハ領事ノ任用方法  
ヲ改正スルノ意見ナキヤ如何

四、我カ帝國工業家ノ商標ハ清國其ノ他ニ於テ充分ナル權利保護ヲ得サルモノノ如  
シ政府ハ此ノ點ニ對シ如何ナル手段方法ヲ採リツツアリヤ

五、日印貿易ハ目下頗ル重要ナル地位地狀勢ニアルヤ論ナシ政府ハ如何ナル施設又ハ  
獎勵ノ方法ヲ採リツツアリヤ

右及質問候也

陪審制度設立ニ關スル質問主意書

右成規ニ據リ提出候也

明治四十四年二月二十一日

提出者 松田 源治

贊成者 松田 正久 外二百一人

陪審制度設立ニ關スル質問主意書

陪審制度設立ニ關スル建議案ハ第二十六回帝國議會ニ於テ本院ヲ通過シタリ其ノ際政府ハ陪審制度設立ニ關シテ慎重ナル調査ヲ遂ケ贊否ヲ決定スヘキコトヲ言明セリ依テ本員ハ左ノ質問ヲ爲ス

- 一 陪審制度設立ニ關スル建議案通過後政府ハ陪審制度設立ニ付如何ナル調査ヲ爲シタリヤ調査ノ範圍、其ノ結果如何
- 二 陪審制度設立ニ關スル調査未タ終了セストモハ政府ハ何時迄ニ調査ヲ終了セシムルノ方針ナリヤ

右及質問候也

○議長(長谷場純孝君) 會議ヲ開キ御諮リ致シマス、議員佐治幸平君病氣ニ付、昨二十七日ヨリ二週間、佐藤庫喜君病氣ニ付、今二十八日ヨリ二週間、各請暇ノ願出ガアリマス、許可シテ御異議アリマセヌカ

(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 御異議ナケレバ許可スルコトニ致シマス、區裁判所事務開始ニ關スル建議案及明治四十二年度豫備金支出ノ件外四件並ニ輕便鐵道補助法案外二件、各委員長ヨリ本會議事會開キタイト云フ申出ガアリマス、許可シテ御異議アリマセヌカ

(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 御異議ナケレバ許可スルコトニ致シマス、國稅徵收法中改正法律案委員倉光藤太君ヨリ病氣ノタメ辭任ノ申出ガアリマス、許可シテ御異議アリマセヌカ

(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 御異議ナケレバ許可スルコト、シ、而シテ其補缺トシテ竹田文吉君ヲ指名シマス、登錄稅法中改正法律案委員日野國明君、入江武一郎君ヨリ病氣ノタメ辭任ノ申出ガアリマス、許可シテ御異議アリマセヌカ

(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 御異議ナケレバ許可スルコト、シ、而シテ其補缺トシテ天野重平君、藤崎剛之君ヲ指名シマス、蠶絲業法案委員駒田小次郎君ヨリ病氣ノタメ辭任ノ申出ガアリマス、許可シテ御異議アリマセヌカ

(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 御異議ナケレバ許可スルコト、シ、其補闕トシテ佐々木鐵太郎君ヲ指名シマス、菅原傳君ヨリ北海道拓殖經營案基礎確立及北海道拓殖鐵道急設ニ關スル建議案外二件ハ重要ナル議案ナルニ依リ、更ニ委員九名ヲ増加シ十八名トナシタシトノ動議ヲ提出サレマシタガ之ヲ追加スルコトニ御異議アリマセヌカ

(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 御異議ナケレバ議長ガ指名追加スルコトニ致シマス——質問第一、外國貿易殊ニ對東洋貿易ノ擴張ニ關スル質問、武田貞之助君

一 外國貿易殊ニ對東洋貿易ノ擴張ニ關スル質問(武田貞之助君提出)

(拍手起ル)

(武田貞之助君登壇)

○武田貞之助君 本員ハ外國貿易殊ニ東洋貿易ニ於キマシテ、即チ東洋貿易ノ擴張ニ關スル質問ヲ致スノデアリマス、左様致シマシテ本質問ノ要點ハ第一點カラ第五點マデニ岐レテ居リマスガ、此第一點ニ對シマシテハ大藏當局者ニ向テ答辯ヲ求メルノデアリマス、次第二點ニ對シマシテハ逓信當局者ニ向テ詳細ナル答辯ヲ求メルノデアリマス、尙第二點、第四點ニ對シマシテハ外務當局者ニ向テ明快ナル答辯ヲ求メマス

○議長(長谷場純孝君) 暫時此席ヲ讓リマス

(議長長谷場純孝君議長席ヲ退キ、副議長肥塚龍君議長席ニ著ク)

○副議長(肥塚龍君) 暫時此席ヲ讓リマス

○武田貞之助君 終リ第五點ハ農商務當局者ニ向テ答辯ヲ求メルノデアリマス、次テ豫テ提出致シテ置キマシタ第四點ハ質問ニ對シマシテハ尙一項ヲ加ヘマシテ、サウシテ外務當局ニ向テ質問ヲ試ミマス、本員ハ本論ニ入リマス以前ニ少シク前提ト致シテ一言ヲ致シマス(簡單ト呼フ者アリ)大藏大臣桂侯爵ハ本議會ニ於キマシテ、而モ此演壇ニ於キマシテ、貿易ノ計數ガ——我帝國ノ貿易ノ算數ガ増進致シテ居ル、一千万圓以上増進致シテ居ル、是ハ甚ダ政府ノ御手柄デアルカノ如ク辯ゼラレタノデアリマス、又大藏大臣ト致シマシテ、我帝國ノ經濟ハ——對外經濟ハ完全ナル否ナ、健全ナル發達ヲシ、アルカノ如ク辯ゼラレタデアリマスガ、本員ハ是等ノ點ニ對シテ幾部分ヲ除クノ外ハ同意ヲスルコトガ出來ナイノデアリマス、滿堂ノ諸君モ御承知ノ如ク、又政府モ知レル如クニ、昨年貿易ノ計數ガ——貿易額ノ算數ガ増進致シ、増加致シタコトハ、獨リ帝國ノミデハナイノデアリマス、昨年ハ支那及印度等ニ於キマシテ、農產物ノ豐饒ナリシタメ、銀貨ノ騰貴致シテ居リシタメ、及世界一般ノ經濟界ガ稍順調ノ狀態ヲ呈セント致シタメ、形ガアリマシテ、現ニ我同盟國ナル英吉利ノ如キハ昨年十月中ニ於キマシテ、輸出入額ニ於キマシテ九千一百十何萬圓、即チ一億二近キトコロノ大ナル増加増進ヲ致シテ居ルノデアリマス、偶、帝國ガ一千万圓前後ノ——以上ノ増加ヲ見タト致シタコトガ決シテ油斷スルコトハ出來ナイノデアリマス、決シテ樂觀スルコトハ許サヌノデアリマス、而シテ本員ガ我帝國ノ對外經濟ノ發展ハ外國貿易ノ狀態ハ健全ナル、健全ナル發達デナイト云フコトハ豫算委員會ニ於キマシテ一言致シタカラシテ、之ヲ繰返シマセヌ、要スルニ我帝國ノ對外發展ノ狀態ハ、貿易關係ノ狀態ハ、決シテ樂觀スルコトヲ許サヌ、決シテ油斷スルコトハ許サナイ實情ニアリマスタメニ、本員ハ餘儀ナク此質問ヲ呈スル次第デアリマス、本員ノ問ハントスルコト第一點ハ政府ハ我帝國ノ貿易ニ關シマシテ至重ノ——至テ重キトコロノ關係ヲ持ツトコロノ彼ノ正金銀行ガ如何ナル實益即チ十分ナル我貿易ニ對シマシテ十分ナル援助適切ナルトコロノ利益ヲ與ヘツ、アルヤ否ヤト云フコトニ對シテ政府ノ所見ヲ求ムルノデアリマス、正金銀行ガ「一富蒙ニ厚ク對シマシテ、多數中流若クハ中流以下ノ貿易業者、若クハ實業家ニ薄キコトハ、是ハ本員ノ贅辯ヲ要セヌトコロデアリマス、關西ノ有力ナル商業會議所其他數所ノ實業團體ノ意見書ニ依ッテ明カニ證明サレテ居ルトコロデアリマス、而シテ同銀行ハ特別ノ保護ガアルガ、特別ノ保護ガアルガ故ニ金利ガ廉イノデアル、融通ニ便利ヲ與ヘルノデアルト云フコトハ、當テ大藏次官ガ委員會等ニ於テ辯明ヲ致シタケレドモ、多數ノ外國銀行カラ其金利ヲ比較致シマスルト常ニ安利ニアル、常ニ手輕ニシテ、最モ便利ニ、最モ利益ニ、取扱ヒツ、アルト云フ實情ハナイノデアリマス、之ヲ本員ガ少シク取調ベタトコロノ實例ノ「一點ヲ申シマセウナラバ、今横濱又ハ神戸ニ於キマシテ俄ニ「メー」ガ出帆スル——外國船ガ出帆スル等ノ場合ニ於キマシテ、時恰モ銀行ノ執務時間外デアタト致シマスレバ、此急ニ船ガ出帆——出帆スルカラ特別ニ居残り願フ、爲替取組ヲ願フト云フヤウナ申込ヲ致シ

マシタトコロカ、正金銀行ノ多クハ此等ニ應ジナイノデアリマス、之ニ反シテ外國銀行タル上海香港、パンク、其他ニ至リマシテハ、何時モ容易ク唯々トシテ之ニ承諾ヲ與ヘテ居ルノデアリマス、又殆ド本員ノ説明ヲ要シナイトコロノ顯著ナル事蹟ト致シマシテハ、先年彼ノ神戸ノ支店ニ於キマシテハ、清國ノ「コンブライト」ニ過ギナイトコロノ彼ノ葉霍齡、一ノ何等門地ナシ、何等資産ノナイトコロノ葉霍齡對シマシテ幾百萬圓ノ融通ヲ與ヘマシテ、サウシテ其結果正金銀行ハ百數十萬圓ノ出世證文ヲ取ツテ居ルデアリマセヌカ、又近クハ昨年未ニ於キマシテ上海自殺ヲ致シタト申ストコロノ麥少彭等ニ對シマシテモ、是又數百萬圓ノ融通ヲ與ヘマシテ、貸出ヲ致シマシテ、サウシテ是又百何十萬圓ノ出世證文ヲ取ツテ居ルデアリマセヌカ、左様ナ譯デアリマシテ、一二ノ外國人ニ厚ク致シマシテ、我帝國ノ多數ノ實業家、多數ノ貿易ニ向ツテ注意ヲ致シ、厚ク保護シ、厚ク援助ヲ致スト云フコトヲ致シテ居リマセヌカ、而モ一二ノ買辦等ニ於キマシテハ云フニ忍ビザル明言スルニ憚ル情弊ガ蟻マッテ居ルノデアリマス、加之諸君モ御承知遊バヌカ、昨年彼ノ日本ノ實業團ガ、清國ノ各方面ヲ尋ネマシタトキニ訪問シタトキニ殆ドドノ居留地モドノ港モ、ドノ方面ニ於キマシテモ、異口同音ニ正金銀行ノ取引ノ不親切ニシテ、我貿易ノ發展ニ助長致サヌモノデアアル、親切ハ全クナイモノデアルト云フコトヲ稱ヘタデアリマセヌカ、訴ヘタデアリマセヌカ（サウダ）ト呼フ者アリ、其他實例ヲ數ヘマスト枚舉ニ違アリマセヌカ、右様ナ狀態ニナッテ居ルノデアリマス、而シテ此正金銀行ハ物足リマセヌカ故ニ、一面日清銀行ヲ設立セントスルトコロノ要求ガアルニモ拘ラズ、政府ハ暗々裏ニ之ニ妨害若クハ防遏セントスル形ガアルノデアリマス、元來日清銀行ノ如キハ去ル明治三十五年ニ於キマシテハ、政府自身ニ必要ヲ認メテ提供シタ問題デアル、提出シタ問題デアル、其後二十二議會ニ於キマシテモ、又吾々ノ先輩タリシ議員ニ於キマシテハ、之ヲ又院議トシテ提出サレタデアリマス、所ガ正金銀行ニ對スル監督、正金銀行ニ對スル監督監督ノ責任ヲ政府ハ十分ナル監督十分ナル監督ヲ爲サズシテ、一面日清銀行ノ設立ヲ許サナイト云フヤウナ狀態デアリマシテハ、所謂此ノ如キ狀態ニシテ我貿易ノ發展ヲ望ムト云フコトハ、恰モ是レ木ニ縁テ魚ヲ求メ電ニ向ツテ花ヲ求メントスルト同一デアリマセヌカ、是レ本員ガ政府ハ今日ノ正金銀行ノ營業狀態ヲ認メテ適切ナリ親切ナリ十分ナリト看做シ居ルヤ否ヤト云フコトニ對シテ、明快ナル親切ナルトコロノ所見ヲ聽クモノデアリマス、第二點ハ我帝國ノ貿易ト最モ密接ナル、最モ大切ナル關係ヲ有スルモノハ、交通問題デアリマス、即チ運送ノ關係デアリマス、諸君モ疾ク御承知ノ如ク、又政府モ知レル如ク、我帝國ハ國力不十分ナルニモ拘ラズ海運獎勵金ニ對シテハ、海上獎勵金ニ對シマシテハ、多額ノ高度ノ保護ヲナシツツアルノデアリマス、曾テ現大統領「タフト」氏ガ彼日本ハ世界高度ノ保護ヲナシツツ、アルト云フコトハ其敎書ニ示サレタデアリマスガ、是レ誠ニ故ナキニアラズデ、此ノ如ク多額、此ノ如ク多量ノ保護ヲ受ケツ、アルトコロノ彼レ被保護會社ハ今日我帝國ノ貿易我帝國ノ貿易營業者ニ向ツテ最モ大ナル、最モ適切ナル便利ヲ與ヘテ居ルカ否ヤト云フコトヲ問ハントスルノデアリマス、本員ノ見ルトコロニ依リマシテハ、此日本郵船會社及長江航路、日清汽船會社ニ於キマシテモ相變ラズ不親切デアリマシテ、最モ貿易ト密接ニシテ離ルベカラサル運賃ト云フモノハ、極メテ高價ナルヲ免レヌノデアリマス、諸君運賃ト申シマスト、運賃ト云ヘバ甚ダ價值ガナイカノヤデアリマスガ、今日餘程商賣關係ガ密接ニナッテ居ル、運賃ナルモノハ貿易ノ關係ニ非常ニ重大ナル關係ヲ持ツノデアリマス、之ガ實例トシテ政府當局ニ一言致シマスガ、我帝國ハ昨今綿絲ヲ清國等ニ出シツ、アルガ、一梱百五十圓ノモノニ僅ニ一噸三十錢乃至四十錢ノ口錢ガアリマシレバ、直ニ輸出スル

ノデアリス、左様デアリマスカラ原料ノ運賃狀態ハ非常ニ貿易ニ關係ヲ持ツノデアリマス、然ルニ今日彼ノ汽船會社ハ如何ニ致シテ居ルデアリマセウカ、帝國ノ貿易ニ對シテ如何ナル狀態デアリデアリマセウカ、今大阪若クハ神戸等ニアリマス雜貨商ニ於キマシテハ彼ノ被保護會社ガイツモ運賃ガ高キガ故ニ、運賃ヲ廉クセシムルタメニ、日本カラ出シマスニ海ニ向ツテ一旦船ヲ著ケ、殊更ニ非常ナル手數ト費用ヲ費シテ陸揚ヲ致シマシテ、ツレカラ恰モ清國ノ商品ナルガ如ク態度ヲ裝テ漢口ヘ送ル、揚子江長江ヘ送ルト云フ狀態デアリマス、左様ナ狀態デアリマシテ一噸六圓バカリデ參リマストコロガ、郵船會社商船會社ニ於テハ直通トシテ清國漢口マデ直通トシテ、其運賃ヲ尋ヌルニ七圓二十錢取ルノデアリマス、一噸七圓二十錢取ツテ居ルノデアリマス、元來直通航路ニシテ一噸荷物ニ致シテサウシテ手數ノ少イヤウナモノ、而モ長距離デアリマスカラ、是非廉ク是非ニ低廉ニシナケレバナラヌニ、非常ナル面倒ヲ致サナケレバ一噸六圓デ上ラヌノデアリマス、又近ク一二ノ例ヲ採リマセウナラバ、諸君洋紙即チ紙ナルモノハ北清方面ニ於キマシテ、日本ノ幾多ノ勢力範圍デアリマス、南清ノ方ニ行キマスト獨逸其他外國ノ紙ノ勢力範圍デアアルノデアリマスガ、此清國ノ中央タル揚子江ニ於キマシテハ、幾多日本外國トガ接戰地ニ相成ツテ居ルノデアリマス、斯ウ云フ日本ノ貿易ノタメニハ、日本ノ商賣ノタメニハ、今申シマス漢口邊ニ參リマス運賃ハ極メテ廉クシナケレバナラヌノデアリマス、然ルニ諸君此獨逸ノ漢堡カラ上海ヲ經テ漢口ヘ參リマス運賃ハ如何デアリマセウカ、之ニ反シテ橫濱若クハ神戸カラ上海ヘ行ク運賃ハドウナッテ居リマセウカ、注意セラル、ニ——注意深キ實業家諸君、又政治家諸君ハ疾ク御承知デアリマセウカ、幾多ノ問題ニナラヌノデアリマス、幾多ヲ謂フニ忍ビナイノデアリマス、即チ漢堡カラ致シテ清國ノ漢口マデハ諸君モ御承知ノ如ク一万二千哩以上アルノデアリマス、之ニ反シテ橫濱カラ漢口マデハ僅ニ千八百哩弱アルノデアリマス、此ノ如ク日本カラ致シテ八分ノ一若クハ九分ノ一位ナル長距離否ナ、短距離ナルニ拘ラズ、其他各般ノ地理的便利ガアルニ拘ラズ、日本カラノ運賃ハイツモ一噸五十五錢ヲ食ツテ居ル、之ニ反シテ獨逸カラノ運賃ハ僅ニ、十志若クハ八志、即チ日本ニ換算スレバ五圓乃至四圓前後デアアルノデアリマス、斯様ナ譯デアリマス、斯様ナ實狀ト相成ツテ居ルノデアリマス、本員等ハ諸君ト共ニ彼ノ汽船會社ニ對シマシテ、海外航路ニ保護ヲ與ヘタ主旨ハ特殊會社ニ巨額ノ配當ヲナサシメテハイカス、巨額ノ積立ヲナサシメ、若クハ少數株主極メテ僅少ノ株主モ而モ華族富豪等ノ極メテ少數ナル株主ニ對シテ多大ノ配當ヲナサシメルタメデアリマス、實ハ我帝國ノ貿易ノタメ、我帝國ノ貿易營業者ノタメニハ、實際ニ適切ニ最モ便利ニ致スベキコトヲ、即チ運賃其他ノ取扱上ニ實際上ノ便利ヲ與ヘンガタメ保護シテ居ルノデアリマス、即チ政府ハ被保護會社ニ對シテ運賃ノ低減ヲ命ズルトコロノ權利ヲ持ツテ居ルノデアリマス、否ナ議會ハ與ヘタノデアリマス、即チ本員ノ問ハント欲スルトコロハ實際ノ有様ニ於キマシテ左様ナ狀態ニナッテ居リマスガ、政府ハ我帝國ノ貿易ノタメ我帝國貿易營業者ノタメ、現ニ被保護會社ハ十分ナル、援護十分ナル便利ヲ與ヘツ、アルヤ否ヤ、此點ニ對スル所見如何ト尋ネルノデアリマス、第三點ハ續イテ帝國ノ貿易、帝國ノ對外發展ト云フコトニ付キマシテハ、領事ノ職責ハ最モ大切ナル任デアリマス、領事ナル官職ハ最モ重要ナル機關デアリマス、然ルニ帝國ノ政府殊ニ外務省ニ於キマシテハ領事ノ交代ヲナスコトハ實ニ奕棋ノ如シ實ニ轉輾極メテ甚シキモノデアリマス、本員算聞ナル大體ニ於キマシテ、大數ニ於キマシテ、其取調ベマシタトコロニ依ツテ見ルト、先ダ東洋ニ於キマス領事ノ交代ヲ見ルニ、幾多二年間毎ニ交代シテ居ル、或ル所ニ據リマスト、一年ニ二回ノ多キ交代ヲナシマシテ居ルノデアアル、此點ニ對シマシテハ極メテ不都合デアリマセヌカ、此

ノ如キハ我貿易ノタメ非常不利益ナリカト云フコトヲ本員ハ豫算委員會ニ於キマシ  
テ、又同僚松本君平君ハ本議會ニ於テ而モ當壇ニ於テ質問サレタノデアリマス、此  
點ニ對シマシテ政府ハ答ヘテ曰ク、ソレハ外國ニモ實例ガアリマス、又氣候ノ關係及家  
族ノ事情ノタメニ已ムナクサレト云フ答辯デアリマス、外國ニ實例ガアル、如何ナル方  
面ニ如何ナル所ニ實例ガアルノデアリマセウカ、偶々其事アリトシテ其事自體善イコトデア  
リマセウカ、如何デアリマセウカ、而シテ氣候ノタメ家族ノ事情ノタメト云フニ至テハ、官  
職ヲ無視シ、公職ヲ輕シズル甚シト云ハナケレバナラヌデアリマス、元來領事ノ職務  
タル能ク人情ヲ知り、彼ノ商品ヲ知り、商機ヲ知り、總テ諸般ノ事情ニ精通スルニ  
ラザレバ、何等報告シ、何等指導スルコトハ得ラレナイデアリマス、此故ニ先年神戸ニ  
於テ死去セラレタ有名ナル「エレテレー」氏——英國ノ總領事「エレテレー」氏ナドハ神  
戶二十年以上滞在シテ居ラレマシテ、前任地ノ長サカラ、合スト二十年以上居ラレタノ  
デアリマス、左様ナ譯デアリマスカラ、日本語ヲ操ツルコトハ本員ガ黃色ナ聲ヲ以テ日本  
語ヲ話スヨリ餘程上手デアテ巧ミニ日本語ヲ操ツラレマシタ、左様ナ譯デアリマスカラ日  
本ノ事情ニ對シテ非常ニ精通シテ確ニ英帝國ノ利益ヲ増進サレツ、アリマシタ、又更ニ  
轉シマシテ先般漢口ノ領事カラ上海ノ總領事ニ轉シマシタ「フレザ」氏ハ如何デアリマ  
セウ「フレザ」氏ハ彼ノ漢口ニ於テ十箇年奉職セラレマシテ、揚子江上流ノ英帝國ノ貿  
易利權ヲ取得スルコトヲ我其天職ナリトシテ、致々職務ニ忠實ニナラレタデアリマセ  
ウカ、又近クハ彼ノ橫濱ノ總領事「ホール」氏ハ如何デアリマセウ、前後十七八年在  
職シテ居ラレタデアリマセウカ、最モ露西亞ノ領事等ニ至リマシテモ七年、獨逸ノ領事  
ニ至テハ七年、八年ト云フ長キ間現ニ在職シテ居ラレタデアリマス、我政府ハ殆ド二  
年間位ノ平均ニ於ケル頻々タル交代ヲ致シ、而モ或ル地方ニ於テハ一年ニ一回ノ多キ交  
代ヲシテ置イテ、サウシテ日本貿易ノタメ、日本ノ對外發展ノタメ、十分ナル活動ガ出  
來ルト看做シテ居ルノハ如何ナル點デアリマセウカ、如何ナル理由ニ基クデアリマセウ  
カ、本員ハ曾テ清國其他ニ遊シテ、其地方ノ商業家ニ向テ日本帝國ノ領事ノ働き振  
リヲ聽イタコトガアリマス、所ガ其某實業家答ヘテ言ヒマスニ、日本帝國ノ領事ハ代リ  
通シニ代テ居ルカラ私ノ商賣ト何等關係ガナイ、唯一年ノ中ニ二大節ニ御挨拶ニ參  
ルノミダト云フコトヲ答ヘマシタ、是ハ極端ナ事例デアリマスケレドモ、實際實情ガ左様ニ  
ナッテ居ルデアリマス、此故ニ本員ハ彼ノ同僚松本君平君ト共ニ重テ質問ハン、此ノ  
如ク頻繁ニ交代セシメテ以テ、我帝國ノ貿易ノ増進、我帝國ノ利權擴張ニ向テ實績ヲ  
擧ゲラレバ否ヤヤ問ハントスルモデアリマス、第四點、是ハ簡單デアリマス、第四點ハ我  
帝國ノ工業家ノ有スル商標權ハ清國「マニラ」、爪哇其他ニ於テ十分ナル保護ヲセラ  
レ、アリヤ否ヤ、政府ハ如何ナル手段方法ヲ執テ保護シ、アリヤト云フコトヲ問ハント  
スルモノデアリマス、附ケタリト致シマシテ、モウ一件問フコトニ致シマス、ソレハ政府ハ南  
洋ニ對シテ何故ニ我帝國ノ發展、帝國民ノ扶殖ニ力ヲ盡サナイノデアルカト云フコト  
ヲ合セテ問ハントスルモノデアリマス、諸君、帝國ノ工業ハ唯今尙進歩ノ途中ニアリト雖  
モ、東洋ノ大キナ國トハ一日ノ長者タル關係ガアルノデアリマス、此故ニ日本ノ商標、所  
謂日本ノ「マーク」ナルモノハ——日本ニ在ル工業ノ「マーク」ナルモノハ、相當價值ガアル  
ノデアリマス、ソレヲ清國人其他外國人ニ巧ニ之ヲ模倣シ、竊取シテ、日本ノ商權、日  
本工業家ノ實益ヲ非常ニ害シテ居ルデアリマス、此點ニ對シマシテ——此事實ニ對シ  
マシテ政府ハ親切ニ、鄭重ニ、大ニ進取ノ主義ヲ執リマシテ、之ヲ保護スルコトヲ致シテ  
居ラヌデアリマス、所謂事勿レ主義、閉籠リ主義ヲ執テ居リマシテ、極メテ不十分ナ感

ヲ免レヌデアリマス、元來日本ノ外交ハ閉籠リ主義デアリマスガ故ニ、何時モ此「ベ  
ン」ト紙ヲ用井マシテ、十分ナル利益ヲ獲得シ、十分ナル商權ヲ回收スルコト等ハ、其實  
蹟ノ見ルベキモノハナイノデアリマス、諸君モ御承知ノ如ク、又政府モ知ル如ク、千九百  
九年英國ガ英暹條約、即チ英國ト暹羅ト契約致シマシテ、サウシテ其結果ト致シマシテ  
「ケラタイン」其他二箇所ニ、一万五千里ノ廣袤ヲ有スルコロノ土地ノ私權ヲ占メテシ  
マッタデアル、僅ニ「ベン」ト紙ヲ用井アサウシテ其私權ヲ占メテシマッタデアリマス、外國  
ノ政府ハ大ニ手腕ヲ振ヒ大ニ活動致シマシテ、サウシテ各其本國ノモノニ向テ外國ニ  
發展シツ、アリマスガ、政府ハ比較的日本人ヲ歡迎シマス、南洋諸島ニ對シマシテ如何  
ナル考ヲ持ツテ居ルノデアリマセウカ、即チ政府ハ何故ニ比較的便利ニシテ比較的反抗  
力ノ少イ南洋ニ對シテ我帝國ノ利權ヲ扶殖シ、我帝國ノタメニ發展ヲ十分シナイノデア  
ルカト云フコトヲ大ニ問ハントスルモノデアリマス、第五點ハ之ガ終リデアリマス、終リニ本  
員ハ日印貿易、即チ印度貿易ニ對シマシテ政府ハ如何ナル施設ヲナシ、如何ナル獎  
勵方法ヲ執リツ、アルヤト云フコトヲ質問セントスルモノデアリマス、日印貿易ノ關係ハ  
現時極メテ重要スベキ狀態ト相成ツテ居ルノデアリマス、之ヲ昨年ノ統計ニ徵シマスレバ、  
無慮一億二千五百萬ノ貿易額トナッテ居ルノデアリマス、即チ我帝國ノ對外貿易ト致  
シマシテハ、彼ノ清國ニ亞グトロコノ大市場ト相成ツテ居ルノデアリマス、而シテ此一億二  
千五百萬ノ中ヲ分析致シマスレバ、我帝國ニ向テ、彼等カラ仕向ケマス輸入額ガ一  
億六百萬圓入ッテ居ルノデアリマス、然ルニ我帝國カラ彼ニ仕向ケマス貿易額ハ、僅ニ  
千九百萬圓ナインデアリマス、尤モ諸君モ知ラレル如ク、又政府モ知ル如ク、彼カラ帝  
國ニ輸入スルコロノ一億六百萬圓ノ中ニハ彼ノ印度棉、原料品タル印度棉ガ多キ  
ニ居ルト雖モ、マダ我帝國ノ貿易ガ十分ナル——我帝國ノ紡績業ガ十分ナル發展ヲ致  
シテ居リマセウカラシテ、僅ニ原料品ノ四分ノ一若クハ三分ノ一弱ヨリハ輸出スルコトガ  
出來テ居ラヌデアリマス、尤モ帝國カラ彼ニ仕向ケルトコロノ一千九百萬圓以外ニ中  
繼貿易ト云フモノガ加ハリマスカラ、モウ少シ金額ガ上ルデアリマセウケレドモ、免ニモ角  
ニモ彼カラ我ニ仕向ケル一億六百萬圓ニ對シテ我帝國カラ彼ニ仕向ケルトコロノモノガ  
一千九百萬圓ト云フニ至ッテハ、極メテ其僅少ナルニ驚カザルヲ得ヌデアリマス、此故  
ニ彼ノ印度貿易ト對清貿易トヲ比較シマス、清國ヨリ得タトコロノ利益關係ハ西印  
度ニ向テ失ッテ居ルノデアル、總テ吐出シテ居ルト云フ關係ニ相成ツテ居ルノデアリマス、  
抑、印度ニ於キマシテハ曾テ彼ノ「クライブ」ガ東印度會社ト一書生トシテ——筆生ト  
シテ之ヲ征定シタコト等ハ之ヲ言ハズ、其後英國政府ニ於テ之ヲ全然占領致シテヨリ  
以後、諸君モ御承知ノ如ク、政府モ知ル如ク、大ニ鐵道ノ敷設ヲ計リ、道路ノ改修ヲ  
致シタメニ印度國民ノ購買力ガ確ニ清國人ノ三倍ニ達シテ居ルト云フコトハ、學者  
實際家及統計書類ノ證明スルコロデアリマス、即チ印度ハ二億一千萬ノ人口デアハ  
リマスケレドモ、恰モ清國人ノ約十億ノ民衆ガ雜然トシテ彼ノ印度ノ一角ニ在ルト見テ  
我帝國カラ仕向ケル數額ハ一千九百萬圓ニ過ギヌトスレバ、最モ遺憾此上モナイデア  
リマセウカ、如何ニモ殘念至極デアリマセウカ、加之此貿易ナルモノト最モ密接ナル關  
係ヲ有スル運送狀態ヲ見マセウナラバ、彼ノ印度棉ヲ日本ニ引取ラレ、爲ニ日本郵船  
會社ハ一年中殆ド是ニ從事シテ居ルノデアリマス、而シテ常ニ此短キ航路ニ於テ一百万  
圓以上ノ運賃ヲ上ゲツ、アルノデアリマス、短キ航路ニ於テ一百万圓以上ノ運賃ヲ上ゲ  
ツ、アルノデアリマスカラシテ、日本カラ態々空船ヲ差向ケテモ收益ガアルノデアリマス、利

益ガアルノデアリマス、斯様ナル運送状態デアリマスカラ日本ガ彼ニ仕向ケルコロノ貨物商品ハ非常ニ運賃ヲ安價ナラシムルコトガ出来、又大ニ貿易ノ發展ト致シマシテハ、海ニ都合ノ好イ關係ニ相成ッテ居ルデアリマス、加之現ニ其綿花ノ運送ニ從事シテ居ル八艘ノ中ニ於テ、四艘マデハ我帝國ノ國家ノ海運獎勵金、航海獎勵金ヲ受ケテ、アルノデアリマスカラシテ、或ル意味ニ於テ我帝國ノ貿易業者ハ運賃ノ低減セシムル權利アリト云ヘルノデアリマス、而シテ諸君モ御承知ノ如ク英國ニハ、否ナ、印度ニハ一種ノ思想ガアリマシテ、此「スワデスウーメント」ノ主義ガ行ハレテ居ルデアリマス、即チ外國ノ貨物外國ノ商品ヲ排斥スルコロノ思想ガ充チ満チ居ルデアリマス、然レドモ幸ナカニ此「スワデスウーメント」ノ中ニハ日本ノ商品、日本ノ貿易品ハ入ッテ居ラヌデアリマス、即チ彼ノ印度ハ非常ナル彼ノ清國ノ排日思想ニアラズシテ親日思想ヲ以テ迎ヘテ居ルデアリマス、此ノ如ク面積カラ申シマシテモ、購買力カラ申シマシテモ、運賃ノ關係カラ申シマシテモ、思想ノ關係カラ申シマシテモ、極メテ有利ニシテ極メテ便宜アル貿易状態デアアルニモ拘ラズ、政府ハ何等獎勵ヲナサズ、何等施設ヲシナイタメニ僅ニ二千萬圓ノ貿易額ト云フニ至ッテハ、如何ニモ残念至極デアリマセヌカ、如何ニモ遺憾此上モナイコトデアリマセヌカ、抑貿易ノコトヲ一日ヲ緩ウ致シマシタナラハ、而モ一日ノ損ノアル譯デアリマス、一日其政策ヲ誤レバ殆ド百年ノ憂ヲ貽ス次第デアリマス、熟シ東ノ方「バナマ」ヲ運河ヲ眺メマシレバ、將ニ滿三年ヲ出デズシテ開鑿ヲ見ル次第デアリマス、又近キハ西ノ方「パナマ」鐵道ヲ眺メマシレバ、是ハ又滿四年ヲ出デズシテ波斯灣ノ一角ニ其敷設ヲ見ル譯デアリマス、否ナ歐亞ノ貫通ヲ見ルデアリマス、斯様ナ次第デアリマスルカラ歐米ノ列強ハ亞細亞東南方面ニ於テ漸次ニ徐々ニ二段ト歩武ヲ進メテ參ッデ、競争ハ一日ト激烈ニナルデアリマス、一日ト猛烈ニナルコトヲ覺悟シナケレバナラヌデアリマス、而シテ更ニ方面ヲ轉ジテ我邦ノ如キ大ナル債務者國ノソレトハ違ッデ、即チ國際關係カラ致シテ、非常ナル負債ヲ背負込ッテ居ル日本トハ違ッデ、彼ノ歐洲ノ中央ニ位スル某國ノ如キハ、世界ニ對シテ大ナル債權者國ナルニ拘ハラズ、貿易擴張ノタメニハ其補助ヲ王室費ニマデモ仰イデ、獎勵ヲ爲シ、居ルデアリマセヌカ「サンブル」其他商品ノ見本ノ一部ノ如キ物ヲ常ニ軍艦ニ無代價搭載ヲセシメテ、サウシテ又大ニ競争ヲ爲サシメテ居ルデアリマセヌカ、又或ル場合ニ於テハ有力ナル實業家、有力ナル貿易業者ニ向ッテ無代價、軍艦ニ便乗サセテ居ルデアリマセヌカ、此ノ如ク世界有數ノ大ナル債權國ニシテ、斯様ナル獎勵、斯様ナル鼓舞ヲ爲シ、アルデアリマス、然ルニ退イテ我政府ノ豫算ノ一端ヲ見マシテ、外務省ノ通商ノコトニ於テハ何等見ルベキモノガアリマセヌ、農商務省ノ方ニ於テハ僅ニ二重ノ検査費トシテ二萬圓ノ要求ガアルノミデアリマス、加之最モ注意ヲ要スル最モ注意ヲ拂フベキ印度方面ニ向ッテ、僅ニ商業練習生ハ一人ヨリ無イト云フニ至ッデハ何事デアリマセヌカ、其他官吏ノ旅費ニ對シテモ、其他ノコトニ對シテモ、少シモ施設ヲ見ナイノミナラズ何等ノ費用モ少シモ計上シテ居ラヌデアリマス、即チ全然其設備其獎勵ヲ見ルベキモノガ存在ヲ致サヌデアリマス、此ノ如ク日本ノ貿易ノ状態ヲ見マシテ、及之ニ反シテ歐羅巴ノ貿易ニ非常ニ獎勵ナシ、アル状態ニ鑑ミマシテ、而モ日進月歩、海ニハ「バナマ」陸ニハ「パナマ」鐵道ノ竣成セントスル状態デアリマシテ、將來一層激烈ナル競争、一層猛烈ナル競争ノ結果、帝國ノ利權ノ如キハ、確ニ擊退サレハセヌカト云フコトヲ大ニ憂ヘ、大ニ恐レルモノデアリマス、本員敢テ辯ヲ好ムニアラズ、一片耿々ノ情念禁セント欲シテ禁ズル能ハズ、留ラント欲シテ留マル能ハズ、敢テ卑言ヲ呈シマシテ、政府ノ明快ナル、親切ナ

ル、答辯ヲ請フモノデアリマス  
○副議長(肥塚龍君) 御諮ヲ致シマス、唯今ヨリ工場法案ノ委員會ヲ開キタイト云フ委員長ノ請求ガアリマス、御差支ハアリマセヌカ  
○副議長(肥塚龍君) 御異議ガナケレバ許可スルコトニ致シマス——モウ一ツ、鐵道敷設法中改正法律案、是モ委員長ヨリ委員會ヲ開キタイト云フ要求ガアリマス、許可シテ御差支ハアリマセヌカ  
○副議長(肥塚龍君) 呼フ者アリ  
○副議長(肥塚龍君) 然ラバ許可スルコトニ致シマス——質問ノ第二ハ提出者千田軍之助君ヨリ延期ノ申出ガアリマシタ、質問ノ第三、陪審制度設立ニ關スル質問、松田源治君  
○松田源治君 司法大臣司法次官ノ出席ヲ望ミマスガ、御取次ヲ願ヒマス  
○副議長(肥塚龍君) 今其事ヲ言ウテヤリマシタガ、二人共豫算分科會ニ出席中トノコトデアリマス  
○松田源治君 出席スルト云フノデスカ  
○副議長(肥塚龍君) マダ出席スルト云フ報ニ接シマセヌ、豫算分科會ニハ通知ヲ致シマシタ

三 陪審制度設立ニ關スル質問(松田源治君提出)  
○松田源治君 本員ハ昨年本會ニ於キマシテ陪審制度設立ニ關スル建議案ヲ出シマシテ、諸君ノ贊成ヲ得マシテ、大多數ニ依ッテ本院ヲ通過シタノデゴザイマス、其際ニ政府ハ陪審制度ナルモノハ司法制度ノ一大革新ヲナストコロノ重大ナル問題ナルニ依リ、慎重ナル調査ヲ遂ゲタ上デナケレバ贊否ヲ明言スルコトハ出来ナイト云フコトデアリマス、然ラバ昨年本院ニ出シマシタトコロノ陪審制度設立ニ關スル建議案ガ通過シタル以上ハ、政府ハ慎重ナル調査ヲ遂ゲラレタモノト本員ハ考ヘルデアリマス、其結果ハイツレ本會ニ御報告ニナルコトデアラウト思ッテ待ッテ居リマシタガ、其事ガアリマセヌカラ本員ハ昨年ノ建議案ノ繼續ト致シマシテ此壇上ニ立ッテ政府ノ調査セラレタル範圍、結果等ニ付テ質問致シタイデアリマス、今述ベマシタヤウニ昨年陪審制度設立ニ關スル建議案ノ通過後、政府ハ如何ナル調査ヲナシタノデアルカ、其調査ノ範圍、調査ノ結果ハ如何、若シ政府ガ陪審制度ニ關スル調査ガ未結了デアラバ、何時マデニ政府ハ本調査ヲ結了スルノデアルカト云フノガ、是ガ質問ノ要點デアリマス、陪審制度ノ必要ナルコトハ昨年本員ヨリ詳細ニ述ベマシテ贊成セラレザル諸君ト討論ノ際ニモ詳細ニ論ジタデアリマス、國民ヲシテ司法裁判權ニ參與セシメマシテハ、本日此席ニ於テ述ベル必要ハナイデアリマス、國民ヲシテ司法裁判權ニ參與セシメマシテハ、裁判ノ信用、社會ノ實際状態ニ適切ナルコトニ至ラシメ、裁判ノ公平ト獨立トヲ保持スルコトヲ本員ハ述ベタノデアリマス、又昨年陪審制度設立ニ關スル建議案ガ通過シタル後ニ近ク諸君モ御承知ノ通り大逆事件ト云フモノガ發生シタノデアリマス、其事件ノ内容ハ秘密ニ附シテアリマス、本員ハ詳細ニ知ルコトヲ得マセヌケレドモ、大審院ノ下シタル判決書ヲ閱讀シマスレバ、本件ノ即チ大逆事件ノ檢察、裁判ガ摘記シテアルノデアリマス、司法大臣ハ豫算委員會ニ於テ大逆事件ノ質問ニ付テ、本大臣ハ本件ノ初ヨリ終リマデ寢食ヲ忘レテ心痛致シテ居ッタ、誠ニ恐懼ノ至リニ耐ヘナイト云フコトデアリマシタガ、心痛恐懼シタノミデアリカナイノデアアル、苟モ大審院ニ於テ大逆事件ナルモノガ犯罪ノ檢察及裁判ノ不

三 陪審制度設立ニ關スル質問(松田源治君提出)

○松田源治君 本員ハ昨年本會ニ於キマシテ陪審制度設立ニ關スル建議案ヲ出シマシテ、諸君ノ贊成ヲ得マシテ、大多數ニ依ッテ本院ヲ通過シタノデゴザイマス、其際ニ政府ハ陪審制度ナルモノハ司法制度ノ一大革新ヲナストコロノ重大ナル問題ナルニ依リ、慎重ナル調査ヲ遂ゲタ上デナケレバ贊否ヲ明言スルコトハ出来ナイト云フコトデアリマス、然ラバ昨年本院ニ出シマシタトコロノ陪審制度設立ニ關スル建議案ガ通過シタル以上ハ、政府ハ慎重ナル調査ヲ遂ゲラレタモノト本員ハ考ヘルデアリマス、其結果ハイツレ本會ニ御報告ニナルコトデアラウト思ッテ待ッテ居リマシタガ、其事ガアリマセヌカラ本員ハ昨年ノ建議案ノ繼續ト致シマシテ此壇上ニ立ッテ政府ノ調査セラレタル範圍、結果等ニ付テ質問致シタイデアリマス、今述ベマシタヤウニ昨年陪審制度設立ニ關スル建議案ノ通過後、政府ハ如何ナル調査ヲナシタノデアルカ、其調査ノ範圍、調査ノ結果ハ如何、若シ政府ガ陪審制度ニ關スル調査ガ未結了デアラバ、何時マデニ政府ハ本調査ヲ結了スルノデアルカト云フノガ、是ガ質問ノ要點デアリマス、陪審制度ノ必要ナルコトハ昨年本員ヨリ詳細ニ述ベマシテ贊成セラレザル諸君ト討論ノ際ニモ詳細ニ論ジタデアリマス、國民ヲシテ司法裁判權ニ參與セシメマシテハ、本日此席ニ於テ述ベル必要ハナイデアリマス、國民ヲシテ司法裁判權ニ參與セシメマシテハ、裁判ノ信用、社會ノ實際状態ニ適切ナルコトニ至ラシメ、裁判ノ公平ト獨立トヲ保持スルコトヲ本員ハ述ベタノデアリマス、又昨年陪審制度設立ニ關スル建議案ガ通過シタル後ニ近ク諸君モ御承知ノ通り大逆事件ト云フモノガ發生シタノデアリマス、其事件ノ内容ハ秘密ニ附シテアリマス、本員ハ詳細ニ知ルコトヲ得マセヌケレドモ、大審院ノ下シタル判決書ヲ閱讀シマスレバ、本件ノ即チ大逆事件ノ檢察、裁判ガ摘記シテアルノデアリマス、司法大臣ハ豫算委員會ニ於テ大逆事件ノ質問ニ付テ、本大臣ハ本件ノ初ヨリ終リマデ寢食ヲ忘レテ心痛致シテ居ッタ、誠ニ恐懼ノ至リニ耐ヘナイト云フコトデアリマシタガ、心痛恐懼シタノミデアリカナイノデアアル、苟モ大審院ニ於テ大逆事件ナルモノガ犯罪ノ檢察及裁判ノ不

平——裁判ニ對スル不平が動機ニナリテ居ルコトヲ説示シテアル以上ハ、其不平が正當ナルカ、不正當ナルカハ姑ク措キマシテ、眞ノ原因ヲ探究シテ檢舉及ヒ裁判ニ不平ナカラシムルコトヲ期スルノハ、最モ司法當局ノ努ムベキコトナルと思フノデアアル、政府ハ其後本員ノ建議シタルコトヲ陪審制度設立ニ關スル建議案ノ通過後裁判制度ニ向テ不平ヲ唱フルモノガ出來タル以上ハ、尙之ヲ調査研究シテ、苟モ裁判ノ制度、司法ノ制度ニ改善ヲ加ヘ、國民ヲシテ不平ノ聲無カラシムルコトハ當然デアアルと思フノデアアル、(内閣ニ改善ヲ加ヘヨ)政黨ニ改善ヲ加ヘヨト呼フ者アリ)然ラバ今日ノ司法制度ニ向テ満足ヲ表シテ居ル人ハ恐クハ滿天下ニ一人モナカラウト思フ、裁判官其者モ不平デアルト思フ、不服デアルト思フ、官民共ニ今日ノ司法制度ニ向テ是宜イト云ウテ満足シテ居ルモノハナカラウト思フノデアアル、即チ陪審制度ヲ設置シテ人民ノ代表者ヲ裁判權ニ參與セシメテ、裁判ヲ受ケル人ノ辯護ヲ付ケルト云フ制度ヲ採ルガ如キハ、其一ナリ、刑事訴訟法ニ於テ豫審ニ辯護人ヲ加ヘテ、辯護人ヲ立會ハシメテ、人權ノ尊重ヲ圖ルト云フコトモ、其二ナリ、其他刑事訴訟法ノ規定ニ人權尊重ニ關スル規定ヲ加ヘ、濫リニ被告人ヲ監獄ニ收監スルコトヲ原則トセシメテ、監獄ニ收監スル場合ハ例外デアルト云フ思想ヲ判事、檢察ニ徹底セシムルガ如キ、又ハ判事、檢察ヲシテ常議ヲ養成セシムル法ハ、之ヲ如何ニスルカ、又ハ人權尊重ノ思想ヲ判事、檢察ノ頭ニ注入スルニハ如何ナル方法ヲ執ルカト云フコトハ、攻究スベキ第三デアラウト思フノデアアル、政府ハ本員ノ提出シタルコトヲ建議案ノ通過後、如何ナル調査ヲナシ、其調査ノ範圍ハ如何ナル範圍デアアルカ、調査ハ結了シテアツタカドウカ、結了シタルハ其結果如何、若モ結了シタルレバ、何日マデニ之ヲ調査スル方針デアアルカト云フコトヲ詳細ニ承リタイノデアアル、申スマデモナク裁判官ノモハ辯護ヲ付ケル制度デアアル、立憲政治ハ辯護ヲ付ケル政治デアアル、立憲政治ニ於テ諸君ガ國民ノ代表者トシテ出席サレテ之ヲ討論シ、決定スルカラ人民ハ餘リ不平ガナクシテ種々ノ不祥ナル事實ガ生ジナイノデアアル、是レ人民ガ立憲政治ニ於テ自分ノ代表者ヲシテ代表セシムルト云フ辯護ガ付テ居ルカラデアアル、裁判官モ神デナケレバ、實際ノ事實ハ分ナインノデアアル、即チ陪審制度ヲ起シテ、若モ裁判官ニ間違ガアツテモ、自己ノ代表者ガ代表シテ裁判ヲシテ吳レタモノデアアルト云フ辯護ガ付クノデアアル、此點ガ最モ重大ナルモノデアアルカラ司法省ハ昨年以來調査ニ調査ヲ重ネタコト、信シマスカラシテ、本員ノ質問シタル二點ニ付テ其大綱ハ司法大臣ヨリ、其詳細ハ御列席ノ司法次官ヨリ詳細ニ答辯セラレテ、本員ヲ満足セシメラレシコトヲ希望スルノデアアル

〔司法大臣子爵岡部長職君登壇〕

○司法大臣(子爵岡部長職君) 松田君ノ質問ニ對シテ答辯ニ及ビマス、陪審制度ニ關シテハ既ニ明治四十二年以來其取調ニ從事致シテ居ルデアリマス、而シテ一應取調ヲ致シタル結果、法律取調委員會ニ此問題ヲ附シテ審議セシメツ、アル次第デアリマス、而シテ同委員會ハ其中ニ組織致シテ居ルコトヲ刑事訴訟法主査委員會ノ方ニ復タ之ヲ附シテ、審議致シテ居ルデアリマス、唯今ハ其取調中デアリマシテ、今日ノ場合イツ其取調ガ結了致スト云フコトヲ明言致シマス機會ニハ達シテ居リマセヌ、而シテ取調ヲ致シテ居リマスルコトノ事項ヲ舉ゲテ見マスレバ、陪審制度ノ淵源、陪審裁判所ノ制度ノ異同ノ大要、陪審裁判所ノ長所及短所、陪審裁判所ノ近時ノ趨勢ノ一斑、フレンビヤ陪審制度ヲ行フ場合ニ於テハ費用ノ如何ト云フコトマデモ一通リ取調ベ、唯今審議ニ掛ケ居リマスル次第デアリマス、右御答ニ及ビマス

○松田源治君 今司法大臣ノ御答辯ニナリマシタル範圍ニ付キマシテハ、法律取調委員會ニ政府ハ提出スルニ付テ準備行為トシテ御調ベニナリテ居ルト思ヒマスガ、其準備行為ハ既ニ結了シテ居ルノデゴザイマスガ、如何デゴザイマセウカ、ワレハ明確ニ御答辯ヲ望ミマス

〔法學博士河村讓三郎君登壇〕

○政府委員 法學博士河村讓三郎君) 折角ノ御尋デゴザイマスカラ御答致シマスガ、唯今司法大臣ヨリ御答辯ニナリマシタル通りニ、陪審制度ノ利害得失ニ付キマシテハ、司法當局者ニ於テ諸種ノ材料ヲ蒐集シ、調査ノ材料ヲ具ヘテ取調委員會ニ諮問ニナリテ居リマス、而シテ取調委員會ニ於キマシテ目下調査中デアツテ、未ダ其可否ヲ決セヌデアリマスカラ、所謂準備行為ニ付テモ未ダ決スルコトヲ無イト云フ狀態デアリマス、併ナガラ取調委員會ニ於テモ極メテ慎重ニ審議サレテ居リマスカラシテ、イツカハ其結果ヲ得ルコト、考ヘテ居リマス

○松田源治君 サウスルト法律取調委員會ハ免モ角モ、政府ハ調査シタル結果贊否ノ明言ハ今日デモ出來ナイノデアリマスガ、ドウデアリマスガ

○司法大臣(子爵岡部長職君) 唯今御答ニ及ビマス、通り十分ニ調査ラセシメタ上、政府ハ政府ノ意見ヲ確定ヲ致ス積リデアリマス

○福田又一君 司法大臣ニ今松田君ノ質問サレタコトニ關聯ヲ致シマシテ、一言問ウテ置キタイコトガアリマス、慎重ニ調査サレノデアアルカラ結果ハイツ報告ニナルカ分ラヌト云フコトデアリマスガ、司法大臣ノ考デハ此問題ハ成ベク急速ニ取調ヲ結了致シテ吾々ノ求ムルトコトヲ答フサルコト云フ御考ガアルノカ、イツ頃ニ報告ガ出來ルカ、ワレハシ放シニシテ置タト云フ考デアリマスガ、ツマリ大臣ノ考デハドウ位ノ間マデニ之ヲ取調ヲ終ルト云フコトノ此調査ノコトニ付テノ御考ガアラウト思フ、何年掛テモ構ハヌト云フノデアアルカ、或ハ急速ニヤリタイト云フ御考デアアルカ、此點ハ幾ラカ御考ガアルダラウト思フ、是ダケノコトヲ伺ヒテ置キタイ

○司法大臣(子爵岡部長職君) 唯今御答ヲ致シタル通り、慎重ニ調査ラ盡シテ居ルデアリマス、調査ハ少シモ急ラズ致シテ居リマス

○副議長(肥塚龍君) 質問第四ハ延期ノ申込ガアリマス、質問第五、第六モ延期ノ申込ガアリマス、質問第七、所得稅法中改正法律案不提出ニ關スル第二質問、提出者守屋此助君、守屋君ハ居ラレマセヌヤウデスカラ、是ヨリ議事日程第一ニ移リマス、議事日程第一、鑛業法中改正法律案、委員長藏内治郎君

○司法大臣(子爵岡部長職君) 唯今御答ヲ致シタル通り、慎重ニ調査ラ盡シテ居ルデアリマス、調査ハ少シモ急ラズ致シテ居リマス

○副議長(肥塚龍君) 質問第四ハ延期ノ申込ガアリマス、質問第五、第六モ延期ノ申込ガアリマス、質問第七、所得稅法中改正法律案不提出ニ關スル第二質問、提出者守屋此助君、守屋君ハ居ラレマセヌヤウデスカラ、是ヨリ議事日程第一ニ移リマス、議事日程第一、鑛業法中改正法律案、委員長藏内治郎君

○司法大臣(子爵岡部長職君) 唯今御答ヲ致シタル通り、慎重ニ調査ラ盡シテ居ルデアリマス、調査ハ少シモ急ラズ致シテ居リマス

○副議長(肥塚龍君) 質問第四ハ延期ノ申込ガアリマス、質問第五、第六モ延期ノ申込ガアリマス、質問第七、所得稅法中改正法律案不提出ニ關スル第二質問、提出者守屋此助君、守屋君ハ居ラレマセヌヤウデスカラ、是ヨリ議事日程第一ニ移リマス、議事日程第一、鑛業法中改正法律案、委員長藏内治郎君

○司法大臣(子爵岡部長職君) 唯今御答ヲ致シタル通り、慎重ニ調査ラ盡シテ居ルデアリマス、調査ハ少シモ急ラズ致シテ居リマス

○副議長(肥塚龍君) 質問第四ハ延期ノ申込ガアリマス、質問第五、第六モ延期ノ申込ガアリマス、質問第七、所得稅法中改正法律案不提出ニ關スル第二質問、提出者守屋此助君、守屋君ハ居ラレマセヌヤウデスカラ、是ヨリ議事日程第一ニ移リマス、議事日程第一、鑛業法中改正法律案、委員長藏内治郎君

由デゴザイマシテ、礦業ノ保護及事務取扱上ニ不備ノ點ヲ補正スルノ必要アリ、是レ本案ヲ提出スル所以ナリト云フ、極ク簡單ナル理由デゴザイマシタガ、此理由ニ付キマシテ曩ニ諸君ノ御手許ニ御配付ニナッテ居リマスル文書ト、尙礦業法ニ付テ精シク御承認ヲ願ヒタイト思ヒマス、尙當院ハ御審議ノ上、委員付託トナリマシテ、其後本月二十二日委員長理事ノ互選ヲ行ヒマシテ、尙二十五日、二十七日ノ兩日ニ委員會ヲ開會致シマシタガ、我礦業界ニ取リマシテハ本案ハ頗ル重大ノ案件デゴザイマス故ニ、委員諸君一人ノ御缺席モゴザイマセヌ、滿員御出席ノ上デ、政府委員礦部鑛山局長ヨリ政府案ノ理由ヲ精シク御説明ガアリマシタ、又各委員ノ御質問モアリマシテ、慎重ニ審議ヲ遂ゲマシテ、又當局大臣ノ御出席ヲ求メ、將來我礦業發展上ニ付キマシテ二二三ノ御希望ヲ述ベラレマシタ、其重ナル點ハ礦業者ヲ保護ノ上ニ於キマシテ、將來出來得ル限リ鑛業者ノ便利ヲ圖ルト云フコトガ主デゴザイマシタ、結局審議ノ末、原案通り可決致シマシタガ、本案ハ詰リ六箇條ニ涉リマシテ鑛業者ノタメ幾分カノ便益ニナル改正案デゴザイマスルガ故ニ、諸君本案ハ各派ヲ通シマシテ御一人ノ御異論者ハアリマスマイト存シマスル、因デ本案ハ滿場御一致デ御賛成アラントヲ希望致シマスル次第デゴザイマス

○菅原傳君 本案ハ直ニ二讀會ヲ開キ、三讀會ヲ省略シテ委員長報告通り決定セラレコトヲ望ミマス

○議長(長谷場純孝君) 本案ハ直ニ二讀會ヲ開キ、三讀會ヲ省略シテ委員長報告通りニ御異議アリマセヌカ

(異議ナシ異議ナシ「ト呼フ者アリ」)

○議長(長谷場純孝君) 御異議ガナケレバ直ニ二讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ニ供シマス

礦業法中改正法律案

確定議

(異議ナシ異議ナシ「ト呼フ者アリ」)

○議長(長谷場純孝君) 御異議ガナイト認メマスカラ二讀會ヲ省略シ、本案ハ委員長報告通り確定致シマス——日程第二、森林法中改正法律案ノ第一讀會ヲ開キ、議案ノ朗讀ハ省略シマス、請願委員長福井三郎君代理武藤金吉君

第二 森林法中改正法律案(請願委員長提出)

第一讀會

森林法中改正法律案

森林法中左ノ通改正ス

第二十二條ニ左ノ但書ヲ加フ

但シ第三十七條ノ二ノ規定ニ依リ委任ヲ受ケタル場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラス

第二十三條ニ左ノ一項ヲ加フ

地方長官ニ於テ第三十七條ノ二ノ規定ニ依リ保安林ノ編入解除ニ關スル處分ヲ爲シタルトキハ前項ノ手續ヲ爲スヘシ

第三十七條ノ二 主務大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ本章ニ規定シタル職權ノ一部ヲ地方長官ニ委任スルコトヲ得

第五十條中「土地ノ使用又ハ收用ノ協議調ヒ、裁決確定シ又ハ判決アリタルトキハ補償金又ハ擔保ノ裁決確定セサルトキト雖」ヲ「第五十五條第一

項ノ裁決アリタルトキハ」ニ改ム  
第五十六條 土地收用法第六十四條、第六十六條及第六十七條ノ規定ハ本章ニ依リ使用又ハ收用セラレタル土地ニ之ヲ準用ス  
第七十八條 森林、原野、山岳又ハ荒蕪地ニ於テハ地方長官ニ於テ必要ト認メ主務大臣ノ認可ヲ得テ指定シタル場合ヲ除クノ外火入ヲ爲スコトヲ得ス

前項指定ノ場合ニ於テ火入ヲ爲サムトスルトキ又ハ前項以外ノ土地ニシテ森林ニ接近セル土地ニ火入ヲ爲サムトスルトキハ森林官吏又ハ警察官吏ノ許可ヲ受クヘシ

○福井三郎君 此案ハ審查ノ當ツタ武藤主査ヨリ報告スル管デゴザイマス

○議長(長谷場純孝君) 今武藤君ヲ呼ビマシタ

○福井三郎君 其法案ハ請願委員會ヨリ提出シタルノデゴザイマスガ、審查ノ當ツタ主査ヨリ報告セシムベキ積リデ、ソレデ一切其書類ハ主査ノ手ノ方ニ回シテアリマス、今主査ハ他ノ委員會ニ出席シテ居リマス、呼ビニヤッテ居リマスカラシテ、日程……

○議長(長谷場純孝君) 武藤君ガ出席シマシタカラ、續ケテヤリマス

(福井三郎君「オイ困ルナ」ト呼フ)

(武藤金吉君登壇)

○武藤金吉君 森林法中改正法律案此法律案ハ、森林法中土地ノ使用ニ關スル規定改正ノ請願ニ付キマシテ、京都府北桑田郡山國村野尻岩次郎君外十五名、紹介議員ハ木戸豐吉君、外二件デゴザイマス、一ハ松尾寅三君ノ紹介、一ハ加藤恆忠君外一名ノ紹介ニ係ルモノデゴザイマス、請願委員會ハ分科會ニ於キマシテ之ヲ採擇スベキモノト決定致シマシテ、更ニ特別委員會五名ヲ選舉致シマシテ、此審查ヲ致シマシタ、而シテ此土地收用ニ關スル法律案ノ制定ニ際シマシタコロ、丁度農商務省ニ於キマシテハ是ト同時ニ森林法ニ付キマシテ改正スベキモノガアルノデアリマシテ、之ヲ別ニ改正案ヲ出シマスルノ煩シウゴザイマスカラ、此請願委員會ノ審查ト同時ニ出シタイト云フコトデゴザイマシテ、政府委員出席ノ上數回ノ審查ヲ重ネマシタコロ、其改正ノ條項ヲ簡單デゴザイマスカラ讀ミマス

第二十二條ニ左ノ但書ヲ加フ

但シ第三十七條ノ二ノ規定ニ依リ委任ヲ受ケタル場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラス

第二十三條ニ左ノ一項ヲ加フ

地方長官ニ於テ第三十七條ノ二ノ規定ニ依リ保安林ノ編入解除ニ關スル處分ヲ爲シタルトキハ前項ノ手續ヲ爲スヘシ

第三十七條ノ二 主務大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ本章ニ規定シタル職權ノ一部ヲ地方長官ニ委任スルコトヲ得

第五十條中「土地ノ使用又ハ收用ノ協議調ヒ、裁決確定シ又ハ判決アリタルトキハ補償金又ハ擔保ノ裁決確定セサルトキト雖」ヲ「第五十五條第一項ノ裁決アリタルトキハ」ニ改ム

第五十六條 土地收用法第六十四條、第六十六條及第六十七條ノ規定ハ本章ニ依リ使用又ハ收用セラレタル土地ニ之ヲ準用ス

第七十八條 森林、原野、山岳又ハ荒蕪地ニ於テハ地方長官ニ於テ必要ト認メ主務大臣ノ認可ヲ得テ指定シタル場合ヲ除クノ外火入ヲ爲スコトヲ得ス

前項指定ノ場合ニ於テ火入ヲ爲サムトスルキ又ハ前項以外ノ土地ニシテ森林ニ  
接近セル土地ニ火入ヲ爲サムトスルキハ 森林官吏又ハ警察官吏ノ許可ヲ受ク  
ヘシ

是デケガ成文デゴザイマス、サウシテ此理由ヲ簡單ニ申シマスレバ、此三ツニナッテ居リマ  
ス、政府ノ方カラ出シマシタモノハ、保安林ノ編入解除ニ關シマシテ、其手續ヲ地方長官  
ニヤラセルト云フノガ一ツデゴザイマス、モウ一ツハ火入ヲナストキハ山ヲ燒キマス時分ニ  
ハ、森林官吏又ハ警察官吏ノ許可ヲ受ケナケレバ燒クコトが出来ナイト云フ 規定デゴザ  
イマシテ、是ハ農商務省ノ生産調査會ニ於テモ曾テ問題ニナッテアルコトデアリマシテ、  
是ハ農商務省カラ請願委員會ニ提出サレマシタ案デゴザイマス、サウシテ此請願ニ係リ  
マス土地ノ收用使用ニ關シマシテハ、別ニ土地收用法ノ規則モアリマスケレドモ、此森  
林ニ關シマシテノ土地ノ使用ハ茲ニ十分ニ使用ノ出來ル方法ヲ改正ヲ致シマシテ、全然  
此案ニハ政府ハ同意ヲ致サレマシタノデアリマス、尙此案ニ付キマシテハ政府委員ニ於キ  
マシテモ言明ヲサレルコトデゴザイマセウ、請願委員會ハ分科會ハ開キマセウガ、特別委  
員會ニ於キマシテモ、亦請願委員會ニ於キマシテモ、滿場一致ヲ以テ決議ヲ致シマシ  
タ、此段御報告ニ及ビマス

〔政府委員上山滿之進君登壇〕

○政府委員(上山滿之進君) 唯今請願委員會カラ提出ニナリマシタ森林法中改正  
法律案ニ付キマシテハ、政府ハ全部同意デゴザイマス、武藤君カラ詳細ニ述ベラレマシタ  
カラ、別段精シイコトヲ申上グル必要ハアリマセウガ、大體政府ニ於テ同意致シマシタ譯  
ヲ簡單ニ申述ベヤウト思ヒマス、武藤君カラ唯今御述ベナリマシタ通り、此案ハ二ツノ  
事柄ヲ含シテ居ル、其第一ハ森林法中ニ規定シテゴザイマス主務大臣ノ職權ヲ事柄ニ  
依ッテ地方長官ニ委任ヲシヤウト云フコトガ一項デゴザイマス、是ハ御承知ノ通り森林  
法中ノ保安林ノ編入、解除、開墾ノ禁止、制限等ノ處分ハ農商務大臣ノ職權ニ屬シ  
テ居リマシタガ、其中ノ或ルモノヲ地方長官ニ委任シタガ仕事モ早ク出來ルト云フ事  
柄ガゴザイマスノデ、其委任ノ出來ル途ヲ開キタイト云フノガ、此趣意デゴザイマス、ソレハ  
此案ノ第三十七條三二ト云フモノヲ一ツ加ヘマシタ、ソレハ其條文ニ依ッテ御承知下サル  
コトガ出來ルト思フ、其前ノ二十二條但書ヲ加ヘルコト、二十二條一項目ヲ加ヘルコト  
ハ三十七條三二ノ規定ガ加ハタ結果トシテ、現行ノ森林法ニ書イテアル手續ヲ幾ラカ變  
ヘナケレバナラヌメデゴザイマス、第二ノ問題ハ請願トシテ現ハレタ事柄デゴザイマシテ、  
現行ノ森林法デゴザイマス、此五十條ニ土地ノ使用、收用ニ付テ協議ガ整フカ協議  
ノ整ハザル場合ニ、ソレニ對スル裁決ナリ判決ナリガ確定シタ場合ナケレバ、土地ヲ使  
ハナイト云フコトニナッテ居リマス、土地收用法モ一般ノ土地ノ收用ニ關スル規定デゴザ  
イマス、地方森林會ノ決議ガアルト直ニ土地ヲ使フノアツテ、此權衡ガ取レテ居リ  
マセウ、其權衡ヲ取ッテ此改正ニ依ッテ地方森林會ノ裁決ヲ經タラバ土地ガ使ヘルコト  
ニシヤウト云フノガ、此請願委員會デ極リマシタ一箇條デゴザイマス、ソレガ御手許ニア  
ル案ノ八十條中ノ改正ニ當リマス、其次ノ五十六條ノ改正ハ五十條中ノ結果、森林  
法ト土地ノ收用法ト權衡ヲ取ルガメニ變ッテデアリマス、第三ノ問題ハ火入レノ問  
題デアリマス、現ニ各地方ノ原野ニ火入ト云フコトガ大分行ハレテ居リマスガ、此火入ナ  
ルモノハ土地ノ力ヲ弱メルト云フコトハ議論ノナイコトデアリマス、ソレデハ火入ヲ原則ト  
シテ禁止ヲシヤウト云フノガ、第三ノ事柄デアリマス、尤モ火入ヲ全然禁止致シマスト是  
ハ又種々農業上ナリ牧畜上ニ障害ヲ起シマスカラ、全然禁止スルコトハ勿論出來マセ  
ヌ、ソレハ主務大臣ノ認可ヲ經テ地方長官ガ斯ウ云フ場合ニ火入ヲサスコトヲ極メタ場

合ハ除外スルコトニナル、即チサウ云フ場合ニ火入ヲサスコトノ猶豫ヲ取ッテ、此規程ヲ  
置キタイト云フ趣意ニナッテ居リマス、大體政府ノ同意致シマシタ趣意ハ唯今申上ゲタ  
通りデアリマス

○福田又一君 議長々々

○議長(長谷場純孝君) 質問デスカ

○福田又一君 質問デハアリマセウ、私ハ委員付託ノ動議ヲ提出シタイ——是ハ請  
願委員會カラノ立案デモアリマスシ、政府モ同意ヲ致サレタノデアリマスカラ、立派ナ改  
正案トハ考ヘマスルガ、尙法律案トシテ之ヲ決定スルニ付テハ、モウ少シ審議ヲ致シタイ  
考デ、委員付託ノ動議ヲ提出致シマス

○菅原傳君 唯今福田君ヨリ委員付託ノ動議モアリマスガ、サリナガラ此問題ハ四十  
五人ヨリ成立ッテ居ルトコロノ請願委員會ニ於テ審議討論決定セラレ、而シテ又政府ニ  
於テモ全然同意見ヲ有セラレルトコロノ案件デアリマスカラ、最早委員ニ付託スル必  
要ガナイト思ヒマスカラ、本案ハ直ニ二讀會ヲ開カレンコトノ動議ヲ提出致シマス

○議長(長谷場純孝君) 福田君ノ說ニ賛成ガアリマスカ

○議長(長谷場純孝君) 賛成ガアリマス

○議長(長谷場純孝君) 賛成ガアリマスカラ採決ヲ致シマス、二ツノ說ガ出テ居リマ  
スカラ、先ヅ委員付託ノ說カラ採決ヲ致シマス、福田君ノ委員付託說ニ賛成ノ方ハ  
起立

起立者 少數

○議長(長谷場純孝君) 少數、本案ハ直ニ二讀會ヲ開クト云フコトニ御異議ハアリ  
マセウカ

○議長(長谷場純孝君) 御異議ガナイト認メマスカラ、直ニ二讀會ヲ開キ、議案全  
部ヲ議題ニ供シマス

○議長(長谷場純孝君) 唯今二讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ニ供シマシタカラ二  
讀會ヲ省略シテ委員長ノ報告通リト云フコトニ御異議ハアリマセウカ

森林法中改正法律案

○菅原傳君 別ニ御議論モナイヤウデアリマスカラ、直ニ二讀會ヲ開キ、三讀會ヲ省略  
シテ委員長ノ報告通リ決定セラレシコトヲ希望致シマス

○議長(長谷場純孝君) 唯今二讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ニ供シマシタカラ二  
讀會ヲ省略シテ委員長ノ報告通リト云フコトニ御異議ハアリマセウカ

○議長(長谷場純孝君) 御異議ガアリマセウカラ本案ハ請願委員長報告ノ通り是ニ  
テ確定致シマシタ、日程第三、行政裁判法中改正法律案第一讀會ノ續ヲ開キマス、  
委員長元田肇君

○議長(長谷場純孝君) 御異議ガアリマセウカラ

○議長(長谷場純孝君) 御異議ガアリマセウカラ

○議長(長谷場純孝君) 御異議ガアリマセウカラ

○議長(長谷場純孝君) 御異議ガアリマセウカラ

○議長(長谷場純孝君) 御異議ガアリマセウカラ

○議長(長谷場純孝君) 御異議ガアリマセウカラ

○議長(長谷場純孝君) 御異議ガアリマセウカラ

○議長(長谷場純孝君) 御異議ガアリマセウカラ

○議長(長谷場純孝君) 御異議ガアリマセウカラ

○議長(長谷場純孝君) 御異議ガアリマセウカラ

○議長(長谷場純孝君) 御異議ガアリマセウカラ

○議長(長谷場純孝君) 御異議ガアリマセウカラ

○議長(長谷場純孝君) 御異議ガアリマセウカラ

ナラレタ御方ハ宮古君、中村君、加瀬君、ト部君、安東君ト、斯様ニ各方面ノ意見ヲ成ベク集メラレハヤウニ致シマシテ、此委員諸君中ニ委員長モ加ハリマシテ、政府委員トモ誠ニ胸襟ヲ披イテ協議相談會ヲ致シマシテ結果ガ、御手許ニ差出シテアリマスル通りニ修正スルコトニナリマシタ、ソコデ此修正ノ趣意ヲ簡單ニ述べマスルガ、第二十五條或ハ四十條等ニ多少ノ修正ハアリマスルケレドモ、之ハ繰返シテ其趣旨ヲ述べルダケノ必要ヲ認メマセヌ、唯第四節ノ再審アリマスルコトコデ、七十七條、七十八條、七十九條アリマス、原案ノ此三箇條ニ於キマシテ、非常ニ修正ノ文字ガ變テ居リマス、文字ハ變テ居リマスルケレドモ、實質ニ於テハ餘リ變リハナイ、原案ニ於キマシテハ法律ニ違背シタモノハ再審ノ訴ヲ提起スルコトヲ得ルト書イテ置キマシテ、次ノ條ニ於キマシテハ左ノ事項ヲ常ニ法律ニ違背シタルモノトスト、現ニ民事訴訟法ニ書イテアル通り舉ゲタノアリマスガ、明カニ常ニ違背シテ居ルモノハ、法令ニ違背シタルモノハ再審ノ訴ヲ爲スコトガ出來ルト書イテアル以上ハ、如何ニモ煩ハシク事ミシク茲ニ一々舉ゲル必要ハナイ、舉ゲナクテモ分リ切ツテ、今ノ第一項ニ入ルモノデアルト云フ趣旨ニ於キマシテ、總テハ修正ヲ致シマシテ、形ハ削ッテヤウニアリマスガ、内實ハ今ノ裁判ガ法令ニ違背シタルトキト云フ場合ニ意味ガ含シテ居ル、其意味ノ蛇足ヲ茲ニ加ヘル必要ハナイト云フ意味デ、修正致シマシタ、ソレカラ七十八條ノ原案ノ七十九條ノ末ニ此裁判ノ提起期間ト云フモノガ極メテゴザイマシタガ、之ハ修正致シテ御手許ニアル通りニナリマシタ、是モ私ハ詳シク御報告スル必要ハナイ、其他多少ノ修正ハ文字ノ上ニアリマスガ、諄々シク御報告スル必要ヲ認メマセヌ、唯此法ヲ實行スル其日ニテハ「明治四十四年五月一日ヨリ之ヲ施行ス」ト云フコトニ致シマシタ、是ガ大體ノ御報告アリマスガ、要スルニ本案ノ精神ハ行政裁判所ハ是マデ一審デゴザイマシテ、如何ナル不法ノ判決錯誤ノ判決ヲ受テモ訂正スル途ガナク、現狀ニ回復スル途ガ開ケナカッタカラシテ、非常ニ是マデ人民ニ於テモ、政府ニ於キマシテモ、兩方ナガラ假ニ不法ノ判決ガアツタ時分ハ、之ヲ直ス途ガナクテ苦シンデ居リマシタ、殊ニ本員等ノ如キ平常辯護士ノ業ニ居ル者ハ既往ノ經過ニ鑑ミマシテ、行政裁判所ニモ一審ヲ開イテ貰ヒタイ、二審ガ出來ナケレバ再審ノ途ヲ開イテ貰ヒタイト云フ念ヲ懷ク者アリマス、而シテ之ハ即チ法曹社會ニ於キマシテモ、皆サンノ御意見デアル、恐クハ本院ニ於テ各、何レノ派ニ於キマシテモ此途ヲ開クコトハ御同感デアル、即チ同一ノ感ヲ持ツテ居ルモノト信ジマス、而シテ昨年ハ政府ノ同意ヲ得ルコトガ出來マセヌカッタガ、本年ハ此修正致シマシタ案ニ付キマシテハ、政府ニ於テ大體異議ナシト云フコトノ言明ヲ委員會ニ於テ得マシタノデアリマスカラシテ、今年ハ幸ニシテ之ガ法文ニナリ、行政裁判所ニモ更ニ不法ナル判決ヲ救正スル途ヲ開クコトガ出來ルト、誠ニ喜ンデ居リマスルノデ、ドウカ本案ハ委員會ニ於キマシテモ既ニ宿題トナツテ居ル上ニ審議ヲ盡シマシタ、審議ヲ盡サル、前列舉シタ通り各方面ヨリノ意見ヲ取ラレタメニ、調査ノ人ミト云フモノヲ委員長ハ精選致シタ積リデアリマス、其人ノ手ニ依ツテ出來上ツタ案デアリマスカラ、何卒直ニ御賛成下サルコトヲ願ヒマス、唯豫メ茲ニ申シテ置キマスルガ、宮古啓三郎君ヨリ一箇條間違ッタ決定タト云フ前ニ確定シテ居ルノガアリマスカラシテ、之ハ間違ッテ正シテ置キタイト云フコトデアリマシタガ、委員會ハ確定シタ後デアリマスカラ、ドウモ委員會ハ再ビ其審議ヲ開クコトハ委員會ノ後デアルカラ出來ナイト云フコトデ、本會ニ訴ヘラレルトコトニナツテ居リマス、委員長ニ於キマシテハ之ハ宮古君ガ提議サル、コトガ穩當デアルト思ヒマスカラ、之ヲ附加シテ置キマス

○菅原傳君 本案ニ對シテ直ニ二讀會ヲ開カレンコトヲ望ミマス

○議長(長谷場純孝君) 直ニ二讀會ヲ開クニ御異議ハアリマセヌカ  
〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕  
○議長(長谷場純孝君) 御異議ガナケレバ直ニ二讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ニ供シマス、宮古啓三郎君ヨリ修正ノ動議ガアリマス、宮古啓三郎君

行政裁判法中改正法律案

第二讀會

○宮古啓三郎君 修正ヲ致シマシタイト云フ箇條ハ、此案ノ中デ「第二十一條削除」トアリマスルヲ削除スルコト云フコトデアリマス、ソレハ行政裁判法ノ第二十一條ト云フノハ行政裁判所ノ判決ノ執行ヲ通常裁判所ニ囑託スルコトガ出來ルト云フ規定デアリマス、之ハ行政裁判所ノ判決ノ性質上餘リ必要ガナイト云フコトデ、昨年ノ政府案ニ削除スルコトニナツテ居タノデアリマス、ソレガタメニ本員等カラ本案ヲ提出スル際ニ於テモ、昨年ノ政府案ノ通り此案ヲ削除スルコトニシテ提案ヲ致シタノデアリマスガ、段々考ヘテ見マスト云フト行政裁判所ノ判決モ通常裁判所ニ囑託スルコトヲ便宜トスル場合ハ絶無デハナイ、絶無デナク、之ガアリ得ル、又アルガ便宜ナリトスレバ、現行法ニアルモノヲ削ル必要ハナカラウト考ヘマシテ、政府ノ人ニモ話シマシタガ、ソレデ大抵宜シカラウト云フ意見デアリマス、左様ナ譯デアリマスカラ「第二十一條削除」ト云フヲ削除シテ、現行法ノ通りニスルト云フ修正案デアリマス

〔贊成ト呼フ者アリ〕

○議長(長谷場純孝君) 宮古君ノ動議ハ定規ノ贊成ガアリマスカラ、宮古君ノ動議ヨリ採決致シマス、宮古君ノ行政裁判所法中改正法律案「第二十一條削除」トアルヲ削除スル、之ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス  
〔起立ハセザルモ異議ナシ異議ナシト聲起ル〕  
○議長(長谷場純孝君) 多數ト認メマス、修正通り決シマス、其他委員長ノ報告ニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(長谷場純孝君) 御異議ナシト認メマスカラ、其他委員長報告通り決シマス  
○元田肇君 唯今二讀會ニ移ル場合デアリマスガ、政府委員ハ委員會ニ於キマシテハ大體同意ト云フコトヲ言明サレテ居ルノデ、願クハ本會ニ於テモ此言明ヲシテ戴キタイ  
〔政府委員安廣伴一郎君登壇〕

○政府委員(安廣伴一郎君) 唯今委員長カラノ御請求デゴザイマスガ、委員會ニ於テ述ベマシタ通り、又委員長ヨリ御報告ニナリマシタ通り、大體ニ於テハ政府ハ異議ハゴザイマセヌト云フコトヲ申シテ置キマス

〔御苦勞様ト呼フ者アリ〕

○議長(長谷場純孝君) 大體委員長ノ報告通り御異議ナシト認メマスカラ、委員長報告通り決定致シマス

○菅原傳君 三讀會ニ於テモ二讀會通り決定セラレンコトヲ望ミマス

〔贊成ト呼フ者アリ〕

○議長(長谷場純孝君) 今菅原君ノ動議ハ直ニ、三讀會ヲ開クノ動議デアリマスガ  
○菅原傳君 三讀會ハ既ニ開イテアルト心得マスカラ、二讀會通り三讀會ニ於テモ決定セラレンコトヲ望ムト云フコトヲ申述ベタノデアリマス

○議長(長谷場純孝君) 直ニ三讀會ヲ開クト云フコトニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕  
○議長（長谷場純孝君） 御異議ナシナレバ直ニ三讀會ヲ開キマス

行政裁判法中改正法律案

第三讀會

○議長（長谷場純孝君） 委員長報告通り御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長（長谷場純孝君） 御異議ナシト認メマスカラ、委員長報告通り（委員長報告通りナレバ違フ者アリ）即チ二讀會決定ノ通りニ確定致シマス（拍手起ル）日程第四、衆議院議員選舉法中改正法律案第一讀會ノ續ヲ開キマス、委員長中倉方次郎君

第四 衆議院議員選舉法中改正法律案 第一讀會ノ續（委員長報告）

（中倉方次郎君登壇）

〔拍手起ル〕

○中倉方次郎君 報告致シマス、此衆議院議員選舉法中改正法律案ハ東武君外一名ヨリ提出ニナリマシテ法律改正案アリマス、本案ニ付キマシテハ二回委員會ヲ開キマシテ、修正ヲ加ヘマシテ委員會ハ決定致シマシタ、此案ニ付キマシテハ第一讀會ノ初メニ方デ提出者ヨリ精シク理由ヲ述ベテアリマスカラシテ私ハ之ヲ略シマス、ワコデ結果ヨリ申述ベシマシテ此修正致シマシテ法案トナタコトヲ要點御紹介ヲ致シマス、斯様ニ修正決議シマシタ、〔衆議院議員選舉法別表中左ノ通改正ス、神奈川県横浜市ノ次ニ横須賀市一人、長崎縣長崎市ノ次ニ佐世保市一人、新潟縣新潟市ノ次ニ長岡市一人、三重縣四日市市ノ次ニ宇治山田市一人、愛知縣名古屋市ノ次ニ豊橋市一人、長野縣長野市ノ次ニ松本市一人、福島縣若松市ノ次ニ福島市一人、廣島縣廣島市ノ次ニ呉市一人、熊本縣熊本市ノ次ニ天草一人ヲ加フ、北海道廳、札幌、空知、上川、増毛、室蘭、浦河、各支廳管内四人、函館、檜山、後志、各支廳管内三人、根室、釧路、河西、網走、宗谷、各支廳管内二人、根室支廳管内千島ニ屬スル諸郡ヲ除ク〕附則本法ハ次ノ總選舉ヨリ之ヲ施行ス、此通り改正ヲ致シマシテ、委員會ハ通過致シマシタ、滿場一致通過シマシタ、此經過ニ付キマシテ、政府ノ意圖ニ必要ガアラウト思フ、委員會ヲ開キマシテ政府委員ノ出席ヲ求メマシテ、政府ノ意圖ニ確メマシタガ、此修正ニ成立チマシタコトヲ案ハ、御承知ノ通り數回本議場ハ大多數通過シタ案デゴザリマス、不幸ニシテ政府モ一向同意ヲ與ヘラレナイトコロカラ、又貴族院モ或ハ議ラニ至ラズ、或ハ否決ノ不幸ヲ被リテ、今日マデ成立ヲ見ルコトガ出来ナカッタデアリマス、テ其政府ノ同意スルコトガ出来ナイ、貴族院ニ於テ之ヲ或ハ否決或ハ議ラセザルニ終ルト云フノハ、御承知ノ如ク現行選舉法ノ別表ノ未項ノ但書ニ、彼ノ法律ヲ施行シタ後十箇年ハ選舉區ノ人口ニ増減ガアルトモ決シテ増減シナイト云フ但書ノ明文ニ拘泥シテ、今日マデ政府ノ同意ヲ得ナイト云フヤウナ實況デアッタデアリマス、所ガ丁度此次ノ總選舉ヲ假ニ四十五年ノ五月ト致シマスルト、其間十箇年ノ年期ハ僅カニ箇月ヲ剩ス位ニナリテ居ル、ソレデ成ルベク今年ハ政府ニモ同意ヲ得、貴族院ニ於テモ通過ニナリタイト云フコトデ、政府委員モ出席ヲ求メマシテ意見ヲ叩キマシタコトコガ、相變ラズ政府委員ニ於テハ最早今日ハ實質ニ付テハ御同情ヲ持ッテ居ルノデアル、併ナガラ此處同意ヲスル、或ハ此次ノ四十五年ノ總選舉ノ際改正案ヲ

政府ガ提出スルト云フコトヲ明言スルコトハ出来ナイ、斯ウ云フ答辯ヲ得マシテ、ソレヨリ最後ニ内務大臣ノ出席ヲ求メマシテ意見ヲ叩キマシタコトコ、是ハ委員中ヨリモ此必要ニ迫ッテ居ル理由ヲ述ベマシタコトコガ、内務大臣ニ於キマシテモ今政府委員ノ答ヘタ通り、ヤハリ大臣モ此事情ニ於テハ尤モニ考ヘル、單リ北海道ノミナラズ、又茲ニ修正致シマシテ法案トナリマシタ獨立ノ選舉區トナルコトノ出来ナクッテ居ル各市ニ於テモ、多少調査ヲ致シマシタナラバ、不幸ヲ被ッテ居ル處ガアルデアラウト思フ、ソレデ成ルベク速ニ調査ヲ遂ゲテ諸君ノ御希望ニ副フダケノコトニシタイト思フガ、此席デ愈々此次ノ總選舉ニ必ズ政府ガ改正案ヲ出スト云フコトヲ明言シロト言ハレタコトコガ、其御約束モ出来ナイ、併ナガラ折角今調査ヲシテ居ルコトコデアルカラ、成ルベク調査ヲ進メテ、諸君ノ御希望ニ副フヤウニ致シタイト思ヒマス、其先キハ察シテ吳レト云フ位ノ答辯デアリマシタカラ、委員會ハ滿場一致ア修正通り可決致シマシタ、此段御報告致シマス

○菅原傳君 本案ハ直ニ二讀會ヲ開キ、三讀會ヲ省略シテ確定スルト云フコトニ御異議アリマセヌカ

○議長（長谷場純孝君） 直ニ二讀會ヲ開キ、三讀會ヲ省略シテ確定スルト云フコトニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長（長谷場純孝君） 御異議ナシナレバ直ニ二讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ニ供シマス

衆議院議員選舉法中改正法律案

確定議

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長（長谷場純孝君） 御異議ナシト認メマスカラ委員長ノ報告通り三讀會ヲ省略シテ本案ハ是ニテ確定致シマス、日程第五、國有土地森林原野下戻申請期間ニ關スル法律案ノ第一讀會ノ續ヲ開キマス、委員長熊本壽人君

第五 國有土地森林原野下戻申請期間ニ關スル法律案（齊藤二郎君提出） 第一讀會ノ續（委員長報告）

〔熊本壽人君登壇〕

〔拍手起ル〕

○熊本壽人君 御報告ヲ致シマス、本案ハ齊藤二郎君ノ御提出ニ係ルモノデゴザイマシテ其國有土地森林原野ノ下戻申請ニ關スル期間ヲモウ少シ延長シタイト云フノデアリマスガ、多數回委員會ヲ開キマシテ政府委員ノ出席ヲ求メ、質問應答ヲ致シマシタ末ニ、多少ノ修正ヲ加ヘマシテ、本案ハ可決ヲ致シタ次第デゴザイマス、其修正ノ案ハ御手許ニ回ッテ居ル通りデゴザイマスガ、第一條ノ期間内「アルトコロノ下ニ」ト云フ字ヲ挿入スルコト、致シマシテ、第二條ノ「十圓ノ印紙ヲ貼用スル」ト云フノヲ「五拾圓」ト云フコトニ修正ヲ致シマシタノデ、ソレカラ附則「七月一日」ト云フノヲ「六月一日」ト云フコトニ修正ヲ致シマシタノデゴザイマス、デ此修正ヲ致シマシタ理由ハ、第一條ノ「二」ト云フ文字ヲ「假名ヲ下シタダケデゴザイマシテ、別ニ説明スル必要ハナイト思ヒマス、第二條ノ「十圓」ト云フノヲ「五拾圓」ト致シマシタノハ、追々斯ウ云フ途ヲ開キマスレバ、此申請ヲスル人ノ濫發ヲスル、申請ヲ濫發スルト云フ弊ガアリハシマスマイカト云フコトヲ、頻リニ政府委員デモ憂ヘテ居ラル、ノデアリマスカラ、之ヲ防ガシマス、此印紙ヲ五拾圓ト云フコトニ致シマスレバ、其弊ヲ防グコトガ出来ヤウト云フ積リデハ、五拾圓ト云フコトニ修正ヲシタノデゴザイマス、又附則「七月一日」ト云フノヲ「六月一

日「ト致シタルハ、之ヲ四月ヨリ發布致シマスレバ七月ヲ待タズシテ六月ヨリ申請ヲサシテ宜シカラウト云フ譯デ」六月一日「ト云フコトニ修正ヲ致シマス」次第「ゴザイマス、サウシテ委員會ハ滿場一致ヲ以テ此修正案ヲ決シテ譯デゴザイマス、然ルニ本案ハ御承知ノ通り昨午モ本院ヲ通過致シタル案デゴザイマス、段々政府ノ方ニモ交渉ヲ遂ゲマシタケレドモ、政府ニ於テハ遺憾ナガラ之ニ同意スルコトハ出來ヌト云フコトデゴザイマス、誠ニ遺憾ナコトデゴザイマス」レドモ、委員會ハ滿場一致ヲ以テ右修正ノ通りニ可決シテ次第「ゴザイマス、此段御報告ヲ致シマス（拍手スル者アリ）」

○議長（長谷場純孝君） 清水市太郎君「御諮ラ致シマスガ、賛成ノ通告ガアリマスケレドモ、別ニ反對ノ通告ガアリマス」

○清水市太郎君 政府委員ガ反對ノ意見ヲ御提出ニナリマシタラ、ソレニ對シテ本案賛成ノ意見ヲ申述セル積リデゴザイマスガ、其コトガアリマスエカラ——必要ガゴザイマセエカラ、撤回ヲ致シマス

○菅原傳君 別ニ異論ガゴザイマセエケレバ、本案ニ對シテ二讀會ヲ開キ、三讀會ヲ省略シテ、直ニ決定セラレントラ望ミマス

○議長（長谷場純孝君） 直ニ二讀會ヲ開キ、委員長報告通り御異議アリマセエカラ（異議ナシ「ト呼フ者アリ」）

○議長（長谷場純孝君） 御異議ナケレバ直ニ二讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ニ供シマス……

國有土地森林原野下民申請期間ニ關スル法律案 確定議

○議長（長谷場純孝君） 御異議ガナシト認メマスエカラ、三讀會ヲ省略シテ本案ハ是ニテ確定致シマス、——日程第六、砂糖消費稅法中改正法律案第一讀會ノ續、委員長三士忠造君

第六 砂糖消費稅法中改正法律案（三士忠造君外三名提出） 第一讀會ノ續（委員長）

（三士忠造君登壇）

○三士忠造君 砂糖消費稅法中改正法律案ノ委員會ノ經過及結果ヲ御報告致シマス、本案ハ九州四國ノ一部小笠原島其他ノ地方ノ百万以上ノ細民ノ危急ニ關係シマス重大ナ案デゴザイマスケレドモ、案其モノハ極ク簡單ナモノデアリマス、即チ白下糖ノ消費稅ガ現行法ニ於キマシテハ三圓デアルノヲ、一圓ニシヤウト云フ案デアリマス、之ニ付キマシテ歐回委員會ヲ開キ、政府委員ト段々交渉モ致シマスガ、政府委員ハ本案提出ノ際此議場ヲ述ベラレタ如ク、ヤハリ反對ヲ述ベラレノデアリマス、其反對ノ理由ハ要スルニ二箇條デアルノデアリマス、一ツハ財源ノ問題、一ツハ課稅ノ均衡問題デアリマス、課稅ノ均衡問題ハ政府ノ申シマスルトコトデハ白糖ト同シク二圓ニスルト云フコトハ、政府ノ砂糖消費稅ノ稅率ヲ算定シテ其標準ヲ破ルト云フコトデアリマス、併ナガラ是ハ政府ノ方ハ見方ガ私共トハ間違ッテ居ルト考ヘルデアリマス、其承知ノ通り砂糖消費稅ノ稅額ヲ算定致シマス標準ハ、和蘭標本ノ色素ニ依ラズデアリマス、和蘭標本ノ色素ハソレニ係リマスモノニ對シテハ相當ノ公平ヲ得マスケレドモ、日本固有ノ砂糖即チ黒糖ト白糖トハ和蘭標本以外ノモノデアリマシテ、之ヲ和蘭標本ノ標準ニ依ッテ一律ニ、律シヤウトスルタメニ間違ガ起ッテ來ルト云フノデアリマス、若シ和蘭標本ノ色素ニ依リマシテ、算定致シマス白糖ト、黒糖ハ黒デアッテ、白下糖ハ白イ、和蘭標本デハ白イ程高イ、從ッテ白糖ト黒糖ト一緒ニ出來ナシト云フ結

論ニ達シマスケレドモ、是ハ丁度其人間ヲ見マスルノニ色デ見ルト同シガラウト思ヒマス、或ル特種ノ人間ヲ除ケテ色デ見マスルナラバ、若シ色ノ白イ程上流人デアルト云フナラバ、歐羅巴人種ガ一番色ガ白クテ一番文明ガ進歩シテ居ル、ソレヲ一番上ニ置キマシテ段々下ッテ來テ、印度人ハ一番黒イカラ一番下デアル、印度人ト朝鮮人ト一緒ニスルコトハ惡ルイ、斯ウ云フコトデアラウト思ヒマス、砂糖ノ白下ト黒糖トハ黒糖ガ印度人ナラバ、白下糖ハ朝鮮人ノヤウナモノデアル、色ニ依ッテ區別スルト大變違フヤデアリマスガ、其實ハ違ハヌモノデアリマス、若シ假ニ違フト致シマシテモ、此白下ガ三圓デアルガメニ歴史ノ數百年耕作致シテ居リマス農民ガ、大ニ其窮狀ニ陷ッテ居ルカラ、却テ之ヲ救済スルト云フ社會政策ノ上カラモ、幾分ノ手加減ヲ加ヘテ宜カラウト思ヒマス、旁ニ以テ課稅ノ標準ヲ毀ハスト云フコトハ、サウ重大ノ議論ニナラヌト思ヒマス、若シ飽マデモ其議論ヲ立テララバ、現行法ニ於キマシテ蜜ト黒糖ガ同額ニナッテ居リマス、黒糖ガ二圓、糖分百六十「パーセント」ノ蜜ガ二圓デアリマスコトガ、洵ニ滑稽ナ話デアル、之モヤハリ嚴密ニ色素ノ方カラ來タシテナクシテ、或ル方面カラ算定シタルデアリマスエカラ、白下糖ト黒糖ト一緒ニスルト云フコトハ課稅ノ標準ヲ破ルト云フ方カラ強イ反對ハ出來ヌト考ヘマス、ソレカラ財源問題モ政府ノ算定ニ依ルト、本年度ニ於テ白糖ガ二十萬——二十萬斤出來ル、之ヲ一圓下ケルト二十萬圓ノ財源ノ缺陷ガ生ズルト云フコトデアリマスケレドモ、是モ二十萬圓位ノコトナラバ、自然增收モ澤山アルコトデアル、尙一圓白下ガ下リマス、耕作ノ量ガ増加致シマスエカラ、財源ノ方ハサウ憂フベキモノデナイト云フコトハ、委員會テ一致シタ考デアリマシテ、此ノ如クニシテ政府ノ反對致シマスル意見ハ總テ理由ナシト云フ考ヲ以テ委員會ハ全會一致ヲ以テ可決致シマスエカラ、ドウカ百万以上ノ細民ヲ救済スル重大ナル案デアリマスエカラ、滿場一致ヲ以テ政府ノ不賛成アルニ拘ラス御贊成アラントラ希望シマス

（政府委員菅原通敬君登壇）

○政府委員（菅原通敬君） 本案ニ付キマシテハ先日モ申シマシタ通り、政府ニ於キマシテハ御同意ハ出來ヌデアリマス、其理由ハ茲ニ之ヲ繰返ス必要ハナシト思ヒマスガ、抑砂糖消費稅ノ稅率ハ昨年ニ於キマシテ稅法ノ整理ヲ行フ場合ニ於テ、十分ニ能ク調査研究ヲ重ネマシテ、殊ニ此白下糖ノ問題ニ付キマシテハ最も能ク審議ヲ盡シタルデアリマス、而シテ各種ノ砂糖ノ間ニ能ク其權衡ヲ保チマシテ、サウシテ其稅率ガ定テ居ルノデアリマス、而モ其極リマシタコトガ今日ニ至ルマデ、未ダ一年ノ經過ヲ持ッテ居リマセヌト云フ今日ニ於キマシテ、此砂糖ノ稅率ヲ變更致サナケレバナラヌト云フ新ナル理由ハ少シモ之ヲ發見スルコトガ出來ヌデアリマス、委員會ニ於キマシテ能ク意見ヲ交換シ、尙又ソレニ付キマシテ熟考モ致シテ見タルデアリマスガ、ドウ致シマシテモ其理由ノ發見ニ苦ンダデアリマス、此案ニ從ヒマス砂糖ノ稅率ガ此白糖ノ稅率ガ最も低キ二圓ノ稅率ニナルト云フデアリマス、百斤一圓ノ稅率ト申シマス砂糖ノ稅率ヨリモ或ハ却テ低クナルト云フコトニナルデアリマス、御承知ノ通り砂糖ヲ製造致シマス場合ニ砂糖ニ成ルコトノ出來ナイ所謂砂糖ノ子ト申スベキ糖蜜デアリマス、其稅率ノ良イモノハ二圓、普通ノモノハ一圓トナッテ居ル、其糖蜜ノ稅率ヨリモ白糖ノ稅率ガ低クナルト云フコトニナリマスエカラ、砂糖ノ課稅ノ權衡ガ全ク破レテシマフト云フコトニナルデアリマス、提案者ハ頗リ白糖ノ糖ノ製作者ノ獎勵又ハ保護ト云フコトヲ以テ論セラレマスケレドモ、白下糖ノ製造ナルモノハ決シテ特殊ノ製法ニ限ラレテ居ルノデナイトデアリマス、又特殊ノ製造方法ヲ具ヘテ居ルモノデナイトデアリマス、ソレデアリマスエカラ若シ此白下糖ニ

スルナラバ、他ノ砂糖ニ對シテ比較的廉イ稅率ニナルト云フコトニナリマス、是迄白下糖ヲ造テ居ラヌ地方ニ於テ、此白下糖ノ製造ヲ多クナスコト云フコトニナリマス、加之白下糖ナルモノハ極メテ模造シ易イデアリマスカラ、サウ云フコトニナリマス、折角白下糖ノ製造ヲ保護シ、獎勵シヤウト思フテ作ラレタル案ガ、却テ反對ニナリハセヌカト云フコトヲ憂フルデアリマス、加之サウナリマスト現在ニ於テ二十萬位ノ歲入減少デ濟ムト云フヤウナモノデモ、或ハ其歲入ノ減少ガ三十萬ナリ或ハ四十萬ナリノ多額ニ達スルコトニナラウト思ヒマス、是等ノ點ニ於テ本案ニ御同意致兼ヌルデアリマス

○中川虎之助君 私ハ此席カラ政府委員ニ質問致シマス、唯今本案ニ反對シテ論旨ニ付テ質問ガアリマス、政府委員ハ政府委員ノ椅子ヲ濫用シテ詐リヲ云フ、先ツ反問スル、第一ハ此政府委員ガ皆サウノ十分ニ砂糖ノコトガ分ラヌト云フコトカラ、一昨年來度々此菅原政府委員等ガ詐リヲ云フノデス、其詐リノ證據ハ政府委員菅原君ハ一昨年吾々委員會ニ出シテ置イタ品物ハ是ハ何デアルカ、蒟蒻版摺ニシテ、今後白下ヤ黒糖ガ外國カラ輸入ニナラヌデ來テ、九十萬圓カラノ財源ガ殖エル、外國ノ輸入ノモノガ九十萬圓カラ入ルト云フコトヲ委員會ノ中ニ大藏省ハ印刷物ヲ配付シタ、ソレカラ之ガ其一割モ外國カラ入デ來ナイ、事實ニ於テ二年ニモナルガ來ナイ、全ク知ラヌデ嘘ヲ吐イタデアル、ソレカラ又酸素ノ色素アル白下ハ以テ來テ、其下ニハ斯ウ云フモノガアルニ依テ、白下ノ減稅ヲスルト、砂糖ノ定義ガ異動シテ取扱ガ困ル、斯ウ云フヨクノ其品物ヲ見レバ全クノ白下デナイ、其再製糖ヲ以テ來テ、上ニ琉球白下ト書イテアル、如何ニモ斯様ナモノガ白下デアラナラバ、減稅ノ出來ヌト云フノモ御尤デアルガ、此見本タルヤ全ク詐リデ、何レヨリ取寄セタデアルカ、斯ク云フ吾輩ハ首ヲ賭ケテ詐リデアルト明言スル、若シ政府委員ガ詐リデアッタ首ヲ受取ルト談判シタコロガ、菅原政府委員ハ血相ヲ變ヘテ、イヤ、是ハ大ニ間違ッテ居ル、此見本ハ撤廢スルト云ウテ、先達之ヲ撤廢シテシマツタ、詰リ白下ト云ヒ黒糖ト云ヒ、何ガ違ッテ居ルカト云フト、僅カ鍋ノ中ニ三十分カ四十分長ク置ケバ白砂糖ニナリ、鍋ノ中カラ早ク出セバ白下ニナラデ、唯粘バイト堅イトノ違デアル、政府委員ハ白下糖ノ製造法モ知ラヌデアル、知ラヌデ詐リノ材料ヲ持テ來テ、委員會ノ眼前ニ示サレタ、其品ヲ撤廢シタ、ソナモノヲ拵ヘタリ間違ッタ蒟蒻版摺ヲ配付サレト云フハ、不届至極ノ次第デアルト思フデアル、吾々砂糖業ヲ親シクシタ者カラ見レバ、白下糖ト黒糖ト品位ガ違フ、又品位ガ違フ、地體ガ違フト云フコトハ調査ガ不行届デアラカラ違フト思フデアル、精シク調べ見タナラバ、大阪ニモ各種ノ砂糖ノ專門ガアリ、東京ニモ各種ノ砂糖ノ專門ガアル、之ヲ商習慣ノ方カラ調べ實際價格ニ於テ調べレバ、決シテ甲乙ノ差ガアルベキモノデナイデアル、ソレヲ知ラヌ間ニ、咄嗟ノ間ニ手前勝手ナ調ヲ造ッテ苟モ委員ノ前ニ詐リヲ言フノハ不都合デアル、チットタシナムガ宜イ、ソレカラ政府委員ハ糖蜜ヨリモ廉イト云フコトヲ云フガ、決シテ糖蜜ヨリモ廉イノハナイ、又黒糖ト白下デハ白下ガ善イト云フコトヲ政府委員ハ云ヒマスケレドモ、決シテサウ云フコトハナイ、是ハ先刻モ云フ通り同ジモノデアアル、又白下ト云フモノハ昔カラ砂糖ノ商賣人同士ニハ分リ切ッタ品物デアアル、常識ノアルモノハ何等故障ナク是迄取引ガ出來テ居ル品物デアアル、決シテ分ラヌモノデナイデアアル、併ナガラ若シ是ガ分ラヌモノトスレバ今度ノ改正法律案ノ甲ト云フ所ヘ「甘蔗糖汁ノ製糖場ニ於テ他物ノ混合又ハ分泌加工セサルモノニ限ル」ト云フ但書デモ加ヘレバ、如何ニ常識外レノ收稅吏ニデモ分ラヌト思フデアリマス、ソレカラモウ一ツハ鹽ニ譬

ヘテ一口口私ノ意見ヲ述ベタイ、鹽ハ如何ナデ居ルカト云フト、國民ノ大必要ナルモノデアル、其鹽ガ臺灣ナリ關東州ノ鹽ハ御承知ノ通り百斤ガ臺灣ノ如キハ十七八錢デ出來ル鹽ガアル

○議長(長谷場純孝君) 中川君ニ御注意致シマス、是ハ砂糖問題デアリマスカラ、成ルベク本問題ニ直接ノ關係アルコトヲ御述べニナルヤウニ

○中川虎之助君 ソレデヤモウ鹽ハヨシマス——譬ヲ云フノデス、此廉イ鹽ガアルノニ、ソレヲ高キ相場デ許シテ、十倍カラ高ク我國ニ持ッテ來テ多ク賣ッテ居ルト云フノハ、廉イ鹽ヲ澤山持ッテ來テ賣ルト、内地ノ鹽田業者ヲシテ昔カラ仕來ッタ事業ヲ根本カラ潰サセルコトニナルカラ、ソレハ國家ノ上カラ見テスベキコトデナイト云フ意味ニ於テ、十倍カラ高イ鹽ヲ日用品デアアルニ拘ハラズ、國民ニ喫ベサセテ居ルノ今日ノ狀態已ムラ得ヌデアル、鹽ヲ砂糖ハ日用品デアアル、最モ必要品デアアル、砂糖ハ奢侈品デアアル、其奢侈品デアアル砂糖ニアヘコベニ桂内閣ハ保護ヲシテ居ル、是等ハ手心ニ手心ヲ加ヘ、保護ニ保護ヲ加ヘルコトハ、是ハ言ハヌデモ分ル管デ、ソレガタメニ豫定以上ニ生産過剰ニナラ居ル、私モ砂糖業ヲヤテ居ルモノデ、臺灣デハ桂侯爵ノ令弟ナド、一緒ノ會社ニ關係ガアル中川デ能ク知ッテ居ル、利益ガアリ過ギル、ソレデ内地ハドウカト云フト、數十萬ノ貧民ノ甘蔗製糖事業ヲ強テ是ガタメニ偏頗ナル保護ヤ偏頗ナル振ノタメニ迫害シテ全滅ササウシテ居ルノデアアル、斯ウ云フヤリ方ハ鹽ニ比ベテモ多少ノ手心ヲシテ、全滅サセヌヤウニシテヤラナケレバナラヌ、此細民ノ農業ノ序ニシテ居ル砂糖ヲ潰スト云フヤウナコトハドウデアルカ、鹽ノヤウナ日用品サヘ高イノヲ喫ベサセテ、内地ノ鹽業ヲ保護シテ居ルガ、奢侈品ノ砂糖ハ臺灣デハ反對ニ之ヲ非常ニ保護シテ、内地デハソレヲ迫害シテ、全滅サレルヤウナコトハ政府トシテスベキコトカドウカ分リ切ッタ話ダト思フ、因ッテ宜シク本案ハ一昨年當議會諸君ノ協賛ヲセラレタ通り、滿場一致ヲ以テ、譯ノ分ラヌ政府委員ナゾノ反對論ヲ吐イタカラト云ウテ耳ニ掛ケヌデ、速ニ可決アラレンコトヲ願ヒマス

(政府委員菅原通敬君登壇)

○政府委員菅原通敬君 中川君ノ極メテ御熱心ナ御演說ヲ伺ヒマシテ、敬服ノ至リデアリマス、唯其中ニアリマシテ申シテ置カケレバナラヌコトガアリマスガ、政府ハ何カ詐リノ材料ヲ提供シテ、サウシテ諸君ヲ欺イタト云フヤウナ言ヲ御述べニナリマシタガ(中川虎之助君「其通り」ト呼フ)其事ダケヲ辯明シテ置キマス、其中ノ一トシテ前年輸入ノ黒砂糖ガ外國ヨリ入テ來ララウト云フ見込ノモノヲバ、紫摺ニ致シマシテ、委員諸君ニ御回シタト云フコトガアリマシタガ、ソレハ其通り御回シテ御覽ニ入レテ居ルノデアリマス、ソレハ政府ノ見込ヲ申シマシタノデ、其見込ノ當リヤ否ヤト云フコトハ、是ハ後ヲ待タナケレバナラヌデアリマスガ、免ニ角其當時ニ於テ政府ノ見込ヲ立テマシタノガ、ソレデアルノデアリマス、其時ニ於テ詐リヲ申ス積リデ其モノヲ御覽ニ入レテアルノデハナイノデアリマス(中川虎之助君「事實ガサウダ」ト呼フ)ソレカラ前回ノ委員會ニ於キマシテハ各種ノ白下糖ノ見本ヲ御覽ニ入レタノモ、是モ事實デアリマス、其中ニアリマシテ色ノ宜シイモノモ、惡イモノモ、各種ノモノガアッタデアリマス、白下糖ヲ東京ニ於テ採取致シマス云フト、是ハ餘程困難デアリマス、併ナガラ免ニ角白下糖ノ見本ヲ採取致スノ必要ガアリマス故ニ、東京ノ稅務監督局ニ命ジマシテ、サウシテ二井倉庫ニ現在シテ居ルトコロノ白下ノ中カラ其見本ニ當ルモノヲ採取シタデアリマス、所ガ皆サン御承知デアリマセウ、此白下糖ナルモノハ樽ノ上ノ方ニアリマス分ト、又下ノ方ニアリマス分ト、其

色ト云フモノガ大分變テ居ルノデアリマス、ソレデアリマス故ニ、白下糖ノ全體ノ色ガドウデアリカト云フコトヲ見ヤウト致シマス、上カラ下ニ攪キ混ゼタモノヲ取ラナケレバナラヌデアリマス、併ナガラ人ノ物カラ見本ヲ取ラウト云フデアリマス、下ノ方カラ攪キ混ゼテ見本ヲ取ルト云フコトハ甚ダ困難デアリマス、ソレデアリマス故ニ、上ノ方ノ部分ニ屬スルヤウバ幾分採取シタデアリマス、サウナリマス、其白下ノ色ガ大分宜シイモノガ見エルトニナリマス、所ガ其中ニ琉球カラ來マシタモノ、中ニ白下ノ甚ダ良イモノガアッテ、ソレカラ小笠原ノモノモアリマス、四國ノモノモアリマス、イロノ種類ガアッタデアリマス、所ガ琉球カラ採取致シマシタ白下糖ハ普通ニ吾々ガ見ルヨリ品物ガ色ガ白イデアリマス、ソレデアリマスカラ白下糖ト云フモノ、見本トシテ提供スルコトニナリマス、御提案者ノタメ却テ不利益ニナリマス、斯ウ云フモノモアルゲト云フ例外的ノナイモノヲ以テ政府ガ見本ニシタト云フコトニナリマス、或ハ判斷ヲ誤ル虞ガアリマス、云フコトハ、是ダケハ見本ノ中カラ御除キニナリマシテ宜シウゴザイマス、云フコトヲ云ツタノデ、是ハ間違テ持テ來タカラ撤回スルト云フコトヲ申シテ撤回ハ致シテ居リマセヌ、ソレハ他ノ委員諸君ニ於テモ、チヤント御承知ニナツテ居ルコトデアリマス、強テ此處デ辯明致スコトハアリマセヌ、ソレカラ最後ニ類リニ砂糖ノ政策ノ上ニ付テ御話デアリマシタケレドモ、製造ノ手段ニ依リマシテ、内地ノ生産業ヲ保護スルト云フ政策ヲ執ルコトノ良否ハ姑ク措キマシテ、先程モ申上ゲマシタ通り若シ内地ノ砂糖ノ消費稅ヲ低メテ、而シテ白下糖ノ製造者ヲ保護シヤウト云フコトヲ御計畫ニナツタモ、先程申上ゲマシタヤウナ理由ニ依ツテ保護シヤウト思フデ、却テ危機ニ陥ルト云フヤウナ自縛ニ陥ルヤウナ虞ガアリマセヌ、此事ヲ一言申上ゲテ置キマス

〔ノウ〕「ト呼フ者アリ」

○菅原傳君 直ニ二讀會ヲ開カレンコトヲ望ミマス

〔贊成々々〕「ト呼フ者アリ」

○議長（長谷場純孝君） 直ニ二讀會ヲ開クコトニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシ〕「ノ聲起ル」

○議長（長谷場純孝君） 御異議ガナケレバ直ニ二讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ニ供シマス

砂糖消費稅法中改正法律案

第二讀會

○菅原傳君 別ニ御議論ガナケレバ直ニ三讀會ヲ開キ、委員長報告通り可決セラレ

〔贊成々々〕「ト呼フ者アリ」

○議長（長谷場純孝君） 別ニ御異議ガナケレバ直ニ三讀會ヲ開キマス、委員長ノ報告通り御異議アリマセヌカ

砂糖消費稅法中改正法律案

第三讀會

〔異議ナシ異議ナシ〕「ノ聲起ル」

○議長（長谷場純孝君） 御異議ガナケレバ委員長ノ報告通り本案ハ是ニテ確定致シマス（拍手起ル）日程第七、裁判所名稱及管轄區域變更ニ關スル法律案第一讀會ノ續、委員長河野郁太郎君

第七 裁判所名稱及管轄區域變更ニ關スル法律案（河野郁太郎君提出）

第一讀會ノ續（委員長報告）

○河野郁太郎君 簡短デゴザイマス、此席ヨリ報告ヲ申上ゲマス、曩ニ御付託ニナリマシタ本案件ノタメニ委員會ヲ開クコトニ回テゴザイマス、而シテ政府委員モ出席ニナリマシテ之ニ意見ヲ尋ネテ見マシタコト、政府委員ハ此案ノ趣意ニ賛成アル、僅カ字句ヲ直シタレバ穩當デアラウト云フ御話ガアリマシタ故ニ、委員ノ一人カラ其文字ノ修正ヲ致シマシテ、是ニ於テ委員會ハ出席全員賛成ヲ以テ修正ノ通り可決致シマシタ、其修正ハ皆様ノ御手許ニ差出シテゴザイマス、而シテ其際ニ控訴院長並ニ檢事正等ノ意見ハドウデアリカト云フコトヲ聞キマシタガ、是モ宜イトコデアルト云フコトヲ承リマシタ、是亦附加ヘテ報告ヲ申上ゲマス、ドウカ滿場諸君ノ御賛成ヲ請ヒマシテ、委員會ノ修正通りニ可決セラレンコトヲ希望致シマス

○議長（長谷場純孝君） 反對ノ通告ガアリマス、飯田精一君

○飯田精一君 唯今提出者タル委員長カラ委員會ニ於ケル經過ヲ報告ニナリマシタガ、私ハ是ニ反對スルモノデゴザイマス、其理由ハ本案ハ柳井津區裁判所ニ屬スルモノヲ德山區裁判所ニ移ス、即チ現今ノ如クデアッテハ大變熊毛郡ノ住民ガ困ルカラ比較的距離ノ近イ德山ニ移シタイト云フノガ、本案提出ノ主ナル理由ノヤウニ承知シテ居リマスガ、事實距離ノ問題カラ申シマス、或ル一郡ヲ見渡シテ見マス、或ル處ハ近イ處モアリマスガ、或ル處ハ寧ろ遠クナル、ソレデ此距離ノ問題ト云フコトハ今移シマシタモ、現在ノ儘デ置キマシテモ、相半バシテ居ルト云フ有様デアリマス、之ヲ變更スルト云フコトノ主ナル理由ニナラヌノデ、尙委員會ニ於テ政府委員ノ述べラレタコトヲ見マス、政府委員ハ斯ウ云フコトヲ言ツテ居リマス「若シ此柳井津區裁判所ト云フモノガ他日事務ヲ開始スルニ至リマスレバ、熊毛郡ノ大半ハヤハリ柳井津ニ參リマス方ガ便利デアルト云フコトニナルカト思ヒマス、殊ニ又此柳井津區裁判所ノ管轄カラ熊毛ヲ取ツテシマヒマス、隨分柳井津ト云フモノガ管轄區域ガ狹クナリマス、デアリマス、若シ此柳井津區裁判所ヲ他日開廳スルト云フコトニナリマスレバ、管轄區域ニ又變更ヲ來サネバナラヌト云フコトハアリマセウ、此點ダケハ御承知ヲ願フデ置キマス」即チ柳井津區裁判所ト云フモノガ事務ヲ閉鎖シテ居リマス、岩國區裁判所ニ於テ其事務ノ代理ヲシテ居リマス、他日柳井津區裁判所ガ事務ヲ開始スルコトニナリマスレバ、又再ビ元ノヤウニナルト云フコトヲ政府委員ハ言ウテ居ルデアリマス、即チ本案ハ都濃郡ニ屬シテ居ル德山町ノ繁榮ヲ計ルト云フニ過ギヌノデ、他郡ノ住民ハ非常ナ不便ヲ感ズルノミナラズ、更ニ柳井津區裁判所ガ事務ヲ開始スルコトニナレバ、又法律ヲ改正シナケレバナラヌコトニナルデアリマス、殆ド此改正案ト云フモノハ無意味ニナリマス、現ニ委員會ノ如キモ僅ニ五人ノ出席デ、十四五分ノ間ニ決議ニナツテ居ルヤウナ次第デアリマシテ、問題ハ地方ノ問題デアリマス、其地方ノ人民トシテハ非常ナル關係ガアルデアリマス、是ハ更ニ十分調査ノ必要ガアルト信ヒマス、此際此法律ヲ改正スルノ必要ヲ認メマセヌ、其意味ニ於テ本案ハ否決セラレンコトヲ希望致シマス

〔贊成々々〕「ト呼フ者アリ」

○議長（長谷場純孝君） 飯田君ニ御尋致シマス、サウスルト二讀會ヲ開クベカラズト云フ御意見デスカ

○飯田精一君 サウデス

(「採決ヲ呼フ者アリ」)

○議長(長谷場純孝君) 採決致シマス二讀會ヲ開クベカラズト云フ動議ガ出マシタカラ先ヅ二讀會ヲ開クベシト云フ方カラ採決致シマス、本案二讀會ヲ開クベシト云フ方ニ同意ノ諸君ハ起立

起立者 多數

○議長(長谷場純孝君) 多數ト認メマス

○菅原傳君 直ニ二讀會ヲ開キ、三讀會ヲ省略シテ委員長報告ノ通り決定セラレンコトヲ希望致シマス

○議長(長谷場純孝君) 直ニ二讀會ヲ開キ、三讀會ヲ省略シテ委員長報告通りニ決定シタイト云フコトニ御異議ハアリマセウカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 御異議ナケレバ直ニ二讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ニ供シマス

裁判所名稱及管轄區域變更ニ關スル法律案

確定議

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 御異議ガナイト認メマスカラ三讀會ヲ省略シテ委員長報告通り、是ニテ本案ハ確定致シマス——日程第八、大湊開港ニ關スル建議案ヲ議題ニ供シ、議案ノ朗讀ハ省略致シマス、提出者齋藤二郎君

第八 大湊開港ニ關スル建議案(齋藤二郎君提出)

大湊開港ニ關スル建議案

青森縣陸奥國下北郡大湊ヲ開港シテ貿易港ト爲スヘシ  
右建議ス

○齋藤二郎君 極ク簡單デアリマスカラ此席カラ申上ゲマス、御許ヲ願ヒマス、詰リ此案ハ大湊ノ開港ニ關スル建議案ト云フデアリマシテ、理由ハ載セテ諸君ノ御手許ニアル通りデアリマスカラ、詰リ之ヲ繰返スコトニナルノデス、唯一言申上ゲテ置クコトハ實ハ是ト同様ナ案ガ貴族院ニ於キマシテ現ニ相當ナモノトシテ採擇シテ議會ニ於テモ通過シテ居ルデアリマス、又此案ニモアリマスル通り野邊地カラ二十哩バカリ大湊ノ方ヘ鐵道ヲ敷カウト云フ法律案モ現ニ今委員會ニ於テ審査セラレツ、アルデアリマス、サウ云フ譯デアリマスカラ本案ヲ急イデ提出シテヤウナ始末デアリマス、ソレデ要スルニ此案ノ内容ハ大湊港ト云フモノヲ速ニ開港シテ、所謂世界ノ貿易港ニシタイ、是ガ一ツデアリマス、第二ハ東北發展策ノ前驅トシテ大湊ヲ是非開港シナケレバナラス、第三ハ御承知ノ如ク青森直航ダケデハ十分デアリカラスト相俟ツテ本州ト北海道樺太等トノ連絡ヲ著ケタイ、此ニツノ理由ニ依ツテ吾々ハ此開港ノ必要ヲ絶叫スルモノデアリマス、ドウカ宜シク御賛成ヲ願ヒマス

○菅原傳君 本案ハ議長指名九名ノ特別委員ニ付託セラレンコトヲ望ミマス  
○議長(長谷場純孝君) 本案ハ議長指名特別委員九名ニ付託スルコトニ御異議ハアリマセウカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 御異議ガナイト認メマスカラ、其通り決シマス——日程第九、鐵道速成ニ關スル建議案ヲ議題ト致シ、議案ノ朗讀ハ省略致シマス、提出者田中定吉君

第九 鐵道速成ニ關スル建議案(田中定吉君外一名提出)

鐵道速成ニ關スル建議案

鐵道速成ニ關スル建議案

一 香川縣下高松ヨリ德島縣下小島ニ至ル鐵道

右ハ四國鐵道豫定幹線中阿讃連絡上重要ナル線路ニシテ軍事上交通上必要缺クヘカサルモノナルヲ以テ政府ハ速ニ之ヲ建設ニ著手セムコトヲ望ム  
右建議ス

○田中定吉君 本案モ頗ル簡單ナモノデスカラ本席カラ説明スルコトノ御許可ヲ願ヒマス、本案ハ四國鐵道幹線ノ起點ニ屬シマスニコロノ高松市ヨリ德島縣下小島ニ到ル、約二十哩ノ鐵道ヲ速成ヲ希望スルコト云フ議案デアリマス、尙四國鐵道幹線ノ中ノ中央部ニ屬シマス德島縣川田ヨリ池田ニ到ル、鐵道ハ既ニ政府ニ於テモ議案ヲ提出シナリマシテ、豫算ニ於テモ、法律案ニ於テモ、本議會ヲ協賛ヲ經テ居ル案デアリマシテ、貴族院ニモ回付サレ、是モ多分可決ニナルコト、存ジマス、サウ致シマス不日此四國幹線ノ中央部ハ工事ニ著手スル順序ニナラウト思ヒマスガ、唯飛離レテ四國幹線中央部ダケガ出來マシタノデハ其效ガ甚ダ微弱デアリマス、即チ本案ハ飛離レタモノヲ起點ニ接續致シマシテ、一方二讀岐鐵道ハ聯絡ヲ保チ、遊園地タル琴平等トノ交通ノ便ヲ保チ、又一方ハ宇野灣ノ鐵道ト接續致シマシテ、山陽動脈タル山陽鐵道ト接續致シマシテ軍事上、其他交通ノ便利ヲ圖リタイト云フ趣意デアリマスカラ、幸ニ諸君ノ御協賛ヲ得マシテ本建議ハ速ニ特別委員ニ付託セラレ、御調査ノ上御協賛ヲ與ヘラレンコトヲ希望致シマス

○菅原傳君 本案ハ提出者ノ希望通り、議長指名九名ノ特別委員ニ付託セラレンコトヲ望ミマス

○議長(長谷場純孝君) 本案ヲ議長指名九名ノ特別委員ニ付託スルコトニ御異議ハアリマセウカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 御異議ガナイト認メマスカラ、其通り決シマス——日程第十、高等染織專門學校設置ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、委員長武藤金吉君

第十 高等染織專門學校設置ニ關スル建議案(武藤金吉君提出)

(武藤金吉君登壇)

○武藤金吉君 委員會ノ成績ヲ御報告致シマス、本建議案ハ絹織物ノ輸出ニ付キマシテ、其化學ノ研究ガ足リマセウタメニ日本ニ於テ一億以上ノ生絲ガ出來ルニモ拘ハラズ、輸出絹織物ノ化學ニ至リマシテハ殆ド幼稚極メ、輸出絹織物ハ往々百万乃至二百萬位マデ往クコトガアリマシタケレドモ、今日ニ於テハ其跡ヲ絶ツト云フ有様デアリマス、此種ノ學校ハ既ニ京都並ニ米澤ニ出來テ居リマスガ、最モ此直接ニ輸出織物ヲヤテテ居リマスニコロノ關東地方、即チ上毛地方ニ速ニ建テ、貫ヒタイト云フ建議案

デアリマス、然ルニ政府ハ全然同意ヲ致シマシテ、文部大臣ニ於テモ四十五年度ニ於テ必ズ豫算ニ計上スルト云フコトハ言明ハ出來ヌケレドモ、成ベク速ニ此施設ヲスルト云フコトア、同意サレタデアリマス、委員會ハ滿場一致ヲ以テ可決ニナリマシタ、願クハ本會ニ於テモ滿場一致ヲ以テ通過アラント希望致シマス

○菅原傳君 本案ハ委員長報告通り可決セラレンコトヲ望ミマス

〔贊成〕ト呼フ者アリ

○議長(長谷場純孝君) 別ニ御異議モ無イト認メマスカラ本案ハ委員長報告通り可決致シマス、日程第十一、全國鐵道改良共進會開催ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、委員長遠藤吉平君

第十一 全國鐵道改良共進會開催ニ關スル建議案 (委員長報告)

〔遠藤吉平君登壇〕

○遠藤吉平君 私人委員長デアリマス、此委員會ノ結果ヲ報告致シマスガ、委員會ニ於テ委員ノ質問致シマシタノハ豫テ御手許ニ同テ居ル建議案ニモアリマス通り、荷造改良共進會ハ三萬圓ノ補助ヲ政府ニ請求スルト云フノハ、是ハドウ云フ所カラ三萬圓ト云フモノヲ割出シタカト云フ質問ガアリマシタガ、是ニ付テ建議者ノ答ヘマスルニハ、是マデ大阪ア二回程共進會ガアリマシタケレドモ、隨分規模ノ小ナルモノデ、全國行涉ラヌカラ、今回ハ日本中ノ各國體實業家ヲ發起人トシ、假ニ共進會ノ經費ハ六七萬圓掛ルトスレバ、其中三萬圓ヲ政府ニ補助シテ貰ヒ、後トハ當業者或ハ發起人ニ於テ負擔スルト云フコトデ、其意味ヲ以テ三萬圓ノ補助トシタ譯デアルト申述ベタトコロガ、政府委員モ出席サレマシテ、委員カラ政府委員ニ質問ガアリマシタ、政府委員ノ申シマスニハ此等ハ外ノ事業ト違ッテ、有益ナコト、政府ハ認メルカラ今確答ハ出來ナイケレドモ、尙此等ニ付テハ能ク詮議ノ上豫算ニ掲ゲル時分ニハドウニカナルデラウト云フ位ノ御答デアリマシタ、因テ滿場一致ニハ別ニ異議モナク、且地方問題ト違ッテ是ハ全國六七千萬人一人モ異議ノナイコトデ、此事業ヲ一日早ク行ヘバツレダケ利益ガアル、一日遅クナレバツレダケ損ノ行ク事業デアリマスカラ、ドウカ滿場一致御贊成アラント希望致シマス

○菅原傳君 本案モ委員長報告通り可決セラレンコトヲ望ミマス

〔贊成〕ト呼フ者アリ

○議長(長谷場純孝君) 御異議ハナイト認メマスカラ本案ハ委員長報告通り可決確定致シマス、日程第十二、高層氣象觀測所設置ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、委員長根本正君

第十二 高層氣象觀測所設置ニ關スル建議案 (委員長報告)

〔根本正君登壇〕

○根本正君 高層氣象觀測所設置ニ關スル建議案ノ委員會ノ結果ヲ報告致シマス、本案ハ昨年モ通過致シマシタ案デ、今年ハ殊ニ慎重審議致シマシテ政府委員モ出席シテ、尙委員會中ヨリツレノ質問モアリマシテ、政府ハ本案ニ同意ヲ表シマシタ、此コトハ既ニ調査モシテアルガ、其必要ヲ認メ今年官吏ヲ派出シテ尙調査シテ、成ベク速ニ

此建議案ノ趣旨ヲ實行シタイモノデアルト云フコトニ同意ヲ表サレマシタカラ、ドウカ御贊成下スツテ、通過アラント希望致シマス

○菅原傳君 本案モ委員長報告通り可決セラレンコトヲ望ミマス

〔贊成〕ト呼フ者アリ

○議長(長谷場純孝君) 別ニ御異議ハナイト認メマスカラ本案モ委員長報告通り可決確定致シマス、日程第十三、鐵道建設ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、委員長望月右内君代理理事長晴登君

第十三 鐵道建設ニ關スル建議案 (阿部德二郎君 外二名提出)

○長晴登君 簡單デスカラ當席カラ御報告申上ゲマス、本建議案ハ盛岡ヨリ分岐シテ生保内角館ヲ經テ、大曲ニ接續スル鐵道外一線アゴザイマシテ、之ニ對シテハ既ニ提出ノ際其理由ヲ述ベテ置キマシタガ、尙又昨年モ本院ヲ通過シタ譯アゴザイマシテ、同一理由ニ基キマシテ本建議案ハ滿場一致ヲ以テ委員會ハ可決致シマシタ、此段御報告申上ゲマス

○菅原傳君 本案ニ對シテ別ニ反對ノ御意見ガナケレバ、委員長報告通り確定セラレンコトヲ望ミマス

○議長(長谷場純孝君) 別ニ反對ノ通告ハアリマセヌ

〔反對〕ト呼フ者アリ

○議長(長谷場純孝君) ツレナレバ唯今ノコトハ取消シマス

○議長(長谷場純孝君) 修正ノ動議ガアリマス

○議長(長谷場純孝君) 齋藤宇一郎君

○齋藤宇一郎君 本員ハ唯今議題トナッテ居リマスストコロノ建議案ノ第一項即チ「嚴手縣下盛岡ヨリ分岐シテ秋田縣下生保内角館ヲ經テ大曲ニ接續スル鐵道」此一項ヲ削除致シタイト云フ意見デアリマス、其理由ハ多ク述べル必要アリマセヌガ、是ハ地勢上甚ダ困難ナル處デアリ、又地理上經濟上、兩縣ノ交通上、既ニ横手黒澤尻ノ線ガ豫定線トナッテ居ッテ、此線ガ完成スレバ此ノ如キ困難ナル線ヲ強テヤル必要ハナイデアリマス、從テ此建議案ニアル通り急設ヲ要スルモノト認メナイ故ニ、此第一項ヲ削除スルト云フ修正動議ヲ提出致シマス

○議長(長谷場純孝君) 贊成ガアリマスカ

〔アリマス〕ト呼フ者アリ

○議長(長谷場純孝君) 贊成ガアレバ採決致シマス、齋藤宇一郎君ヨリ修正動議、即チ第一項「嚴手縣下盛岡ヨリ分岐シテ秋田縣下生保内角館ヲ經テ大曲ニ接續スル鐵道」之ヲ削除スルト云フコトニ同意ノ諸君ハ起立

起立者 少數

○議長(長谷場純孝君) 少數 其他委員長ノ報告ニ御異議ガアリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(長谷場純孝君) 御異議ガナケレバ委員長報告通り本案ヲ可決確定致シマス、日程第十四乃至二十七ノ請願ハ便宜上一件毎ニ委員長ヨリ報告ヲ爲サシメ、逐次ツレバ議題トシテ採決致シマス、請願委員長福井三郎君代理理事小久保喜七君

起立者 少數

○議長(長谷場純孝君) 少數

〔異議ナシ異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(長谷場純孝君) 御異議ガナケレバ委員長報告通り本案ヲ可決確定致シマス、日程第十四乃至二十七ノ請願ハ便宜上一件毎ニ委員長ヨリ報告ヲ爲サシメ、逐次ツレバ議題トシテ採決致シマス、請願委員長福井三郎君代理理事小久保喜七君

(小久保喜七君登壇)  
○議長(長谷場純孝君) 日程第十四、特別報告第六十八號、志士ノ恩典ニ關スル請願

第十四 (特別報告第六十八號) 志士ノ恩典ニ關スル請願 (委員長報告)

○小久保喜七君 本件ハ東京市牛込區算笥町四十三番地平民商金山正太郎呈出、上楚安太郎君ノ紹介ニ係ルモノデアリマス、私ハ何時デモ非常ニ簡單デゴザイマスガ、是ハ古ノ志士ニ對スル禮儀ト致シマシテ、要旨ヲケチヨット申上ゲタイト思ヒマス、是ハ故桐野利秋、篠原國幹、前原一誠、江藤新平ノ諸氏ハ嘗テ賊臣トサレタモノデアリマスガ、能ク其事情ヲ調ベレバ朝鮮問題カラ臺閣ト議會ハズニ事此ニ至ッタノデアルガ故ニ、既ニ今日朝鮮合併ト云フモノガ出來タ以上ハ、何等カノ方法ヲ以テ之ガ表彰スルガ宜カラウト云フノガ、本請願ノ趣旨デゴザイマシテ、請願委員會ニ於キマシテハ此四人ニ止ラズ、島義勇君ノ如キ、村田新八君ノ如キ、是等ノ志士ニハヤリ同一表彰スルガ宜カラウト云フコトデ、委員會ハ之ヲ可決致シマシタノデアリマス、何卒諸君ノ御賛成ヲ請ヒマス

○議長(長谷場純孝君) 御異議ガナケレバ委員長ノ報告通り本請願ハ採擇ニ決シマス、日程第十五、特別報告第六十九號、青森港ト樺太及釧路間定期航路開始ノ請願

第十五 (特別報告第六十九號) 青森港ト樺太及釧路間定期航路開始ノ請願 (委員長報告)

○小久保喜七君 本請願ハ青森商業會議所會頭長谷川茂吉呈出、阿部政太郎君外五名ノ紹介ニ係ルモノデアリマシテ、要旨ハ載セテ報告書ニ明カデアリマス、相當ト認メテ採擇ニ決シマシタ

○議長(長谷場純孝君) 御異議ガナケレバ委員長報告通り採擇ニ決シマス、日程第十六、特別報告第七十七號、日本海橫斷航路開始ノ請願

第十六 (特別報告第七十七號) 日本海橫斷航路開始ノ請願 (委員長報告)

○小久保喜七君 本請願ハ朝鮮咸鏡北道清津府敷島町三丁目清津商業會議所會頭岩田遠外三名ノ呈出、三浦覺一君外一名ノ紹介ニ係ルモノデアリマシテ、ヤハリ相當ト認メテ採擇ニ決シマシタ

○議長(長谷場純孝君) 御異議ガナケレバ委員長報告通り採擇ニ決シマス、日程第十七、特別報告第七十號、日露戰役被津被害民救済ノ請願

第十七 (特別報告第七十號) 日露戰役被津被害民救済ノ請願 (委員長報告)

○小久保喜七君 本請願ハ大分縣熊毛郡麻里村四十七番地朝鮮元山港春日町商太田儀三外八名ノ提出、三浦覺一君外一名ノ紹介ニ係ルモノデアリマシテ、本件モ亦相當ト認メテ採擇ニ決シマシタ

○武市庫太郎 本請願ハ當局者ニ伺ヒタイデスガ、此問題ト同シク日露戰争ノ際ニ露領ニ在リマシタ我邦人ノ損害ヲ被リマシタモノニ對シテハ、之ガ救済案ハ既ニ可決シ、又其金高モ決定シテ居マシテ、其通り政府ハ御取計ニナリツ、アルコト、思ヒマスガ、右ハ如何ナル程度ニマデ進ンデ居リマスカ、ソレヲ御尋シタイノデアリマス

○議長(長谷場純孝君) 政府委員ニ御尋デスカ

○武市庫太郎 サウデス

○議長(長谷場純孝君) 政府委員ハ今一人モ出テ居リマセヌ

○武市庫太郎 ヲレデハ後ニ保留シテ……

○議長(長谷場純孝君) 別ニ御異議ガナケレバ、委員長報告通り本請願モ採擇ニ決シマス、日程第十八、特別報告第七十一號、庄内川改修ノ請願

第十八 (特別報告第七十一號) 庄内川改修ノ請願 (委員長報告)

○小久保喜七君 本請願ハ愛知縣海東郡宮田村長飯田鐵三郎外二十五名ノ呈出、春日祐清君外一名ノ紹介ニ係ルモノデアリマス、本請願モ相當ト認メテ採擇ニ決シマシタ

○議長(長谷場純孝君) 御異議ガナケレバ本請願モ委員長報告通り採擇ニ決シマス、日程第十九、特別報告第七十五號、御物川改修工事速成ノ請願

第十九 (特別報告第七十五號) 御物川改修工事速成ノ請願 (委員長報告)

○小久保喜七君 本請願ハ秋田商業會議所會頭辻兵吉呈出、大繩久雄君外一名ノ紹介ニ係ルモノデアリマシテ、本請願モ相當ト認メテ採擇ニ決シマシタ

○議長(長谷場純孝君) 本案モ御異議ガナケレバ採擇ニ決シマス、日程第二十、特別報告第七十二號、特別地價修正ノ請願

第二十 (特別報告第七十二號) 特別地價修正ノ請願 (委員長報告)

○小久保喜七君 本請願ハ宮城縣志田郡敷玉村大字師山十四番地平民農大友靜外百三十五名呈出、遠藤良吉君外二名ノ紹介ニ係ルモノデアリマシテ、本請願モ亦相當ト認メテ採擇ニ決シマシタ

○議長(長谷場純孝君) 御異議ガナケレバ委員長報告通り採擇ニ決シマス、日程第二十一、特別報告第七十三號、借地權救済ノ請願

第二十一 (特別報告第七十三號) 借地權救済ノ請願 (委員長報告)

○小久保喜七君 本請願ハ東京市本所區龜澤町二丁目三番地磯部四郎外四百二名呈出、戸水寛人君外一名ノ紹介ニ係ルモノデアリマシテ、本件モ亦相當ト認メテ採擇ニ決シマシタ

○高木益太郎君 委員長ニ伺ヒタイコトガアリマス、ソレハ借地權救済ニ關スル請願ハ社會政策ノ上ニ於テ、經濟政策ノ上ニ於テ、餘程重要ナル案デアリマス、是ニ付キマシテハ政府ハドウ云フ意見ヲ持チマシタノデアリマセウカ、此點ニ付テ詳細ナル御報告ヲ願ヒマス

○小久保喜七君 是ハ重要ナル案デアリマスガ、一目瞭然デゴザイマシテ、ムツカシイ案ダト分ラヌトコロガアルト、政府委員ヲ呼出シテ聽キマスガ、是ハ誠ニアナタノ仰シヤル通り社會政策ニ最モ必要ナルコトハ、一目瞭然デアリマスカラ、本請願ノ現ハル、ヤ、滿場一致デ一人ノ反對モナク、分科會モ總會モ可決ヲ致シタ譯デゴザイマスカラ、左様御承知ヲ請ヒマス

○高木益太郎君 分リマシタ  
(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 別ニ御異議ガナケレバ委員長ノ報告通り本請願モ採擇ニ決シマス、日程第二十二、特別報告第七十四號、郵便局位置移轉ニ關スル請願外一件

第二十二 (特別報告第七十四號)郵便局位置移轉ニ關スル請願外一件 (委員長報告)

○小久保喜七君 本請願ハ愛知縣額田郡幸田村大字蘆谷字北屋敷四十番地平民農夏田長四郎外百三名ノ呈出、紹介議員ハ福岡精一君デゴザイマス、又次ハ四百四十五號デ、同上愛知縣幡豆郡豐坂村大字六栗十一番戸平民商高橋喜代治郎外七十九名ノ呈出、福岡精一君ノ紹介ニ係ルモノデゴザイマシテ、本請願モ相當ト認メテ採擇ニ決シマシタ

○議長(長谷場純孝君) 御異議ガナケレバ本請願モ委員長報告通り採擇ニ決シマス、日程第二十三、特別報告第八十號、郵便局設置ノ請願

第二十三 (特別報告第八十號)郵便局設置ノ請願 (委員長報告)

○小久保喜七君 本請願ハ静岡縣賀茂郡南上村長高橋傳之助呈出——大野久次君ノ紹介ニ係ルモノデゴザイマス、本請願モ相當ト認メテ採擇ニ決シマシタ

○議長(長谷場純孝君) 御異議ガナケレバ本請願モ採擇ニ決シマス、日程第二十四、特別報告第七十八號、清津會寧間鐵道急設ノ請願

第二十四 (特別報告第七十八號)清津會寧間鐵道急設ノ請願 (委員長報告)

○小久保喜七君 本請願ハ朝鮮咸鏡北道清津府清津敷島町三丁目清津商業會議所會頭岩田遂外三名呈出、三浦覺一君ノ紹介ニ係ルモノデゴザイマス、本請願モ相當ト認メテ採擇ニ決シマス

(異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 御異議ガナケレバ本請願モ採擇ニ決シマス、日程第二十五、特別報告第八十二號、釧路網走間鐵道敷設ノ請願外一件

第二十五 (特別報告第八十二號)釧路網走間鐵道敷設ノ請願外一件 (委員長報告)

○小久保喜七君 本請願ハ北海道網走郡網走町大字北見町南裏通一丁目五番地平民農高田源藏外二百十五名ノ呈出、白石義郎君外一名ノ紹介ニ係ルモノ、次ガ四百九十八號同上北海道北見國網走郡網走町大字北見町中通七丁目四番地平民商伊藤藤景外五十名呈出、白石義郎君外一名ノ紹介ニ係ルモノデゴザイマス、本請願モ相當ト認メテ採擇ニ決シマシタ

(異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 御異議ガナケレバ本請願モ採擇ニ決シマス、日程第二十六、特別報告第七十九號、地方稅制限法改正ノ請願

第二十六 (特別報告第七十九號)地方稅制限法改正ノ請願 (委員長報告)

○小久保喜七君 是ハ岡山縣吉備郡新本村長小坂逸八外九名呈出、西村丹治郎君ノ紹介ニ係ルモノデゴザイマシテ、本請願モ相當ト認メテ採擇ニ決シマシタ

(異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 御異議ガナケレバ本請願モ委員長報告通り採擇ニ決シマス、日程第二十七、特別報告第八十一號、本坂峠開鑿ノ請願

第二十七 (特別報告第八十一號)本坂峠開鑿ノ請願 (委員長報告)

○小久保喜七君 本請願ハ静岡縣引佐郡西濱名村長縣勇外九名呈出、伊東要藏君ノ紹介ニ係ルモノデゴザイマス、本請願モ相當ト認メテ採擇ニ決シマシタ

(異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 御異議ガナケレバ本請願モ採擇ニ決シマス、御諮ヲ致シマス、チヨット御聽下サイ、會期モ切迫致シマシタカラ法律案ヲ日程ニ掲載スルコトニ付テ時間ノ短縮及議長ノ許可ニ依ッテ本會議中ニモ委員會ヲ開キ得ルコト、議案ノ都合ニ依リテハ委員會ノ日ニモ本會ヲ開キ得ルコト等ハ自今前年ノ通り致シタイと思ヒマス、御異議ハアリマセヌカ

(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 御異議ガナケレバ其通り決シマス、尙此事ハ每會期ノ例トナッテ居リマスカラ、將來會期ノ三分ノ二ヲ經過スルキハ前各項ノ適當然取計ヒ得ラレルコトニ取極メテ置キタイと思ヒマスガ、御異議ハアリマセヌカ

(異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 御異議ガナケレバ其通り決シマス——議員小野崎耕夫君ヨリ病氣ニ付、今二十八日ヨリ二週間、請暇ノ願出ガアリマス、許可シテ御異議ハアリマセヌカ

(異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 御異議ガナケレバ許可致シマス、諸般ノ報告ヲ致シマス

一議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

御歴世宮趾保表ニ關スル建議案  
提出者 八木 逸郎君 村井善四郎君 井上傳作朗君  
名所舊蹟古墳墓保護ニ關スル建議案  
提出者 八木 逸郎君 村井善四郎君 井上傳作朗君

一綾部惣兵衛君ヨリ藥品取締ニ關スル質問主意書ヲ提出セラレタリ  
一澤來太郎君ヨリ馬匹改良方針ニ關スル質問主意書ヲ提出セラレタリ

○議長(長谷場純孝君) 議長ニ委託セラレタル委員ノ氏名ハ公報ヲ以テ御通知ヲ致シマス、議事日程ハ公報ヲ以テ御通知ヲ致シマス、本日ハ是ニテ散會  
午後四時二十八分散會

衆議院議事速記録第十六號正誤

|     |   |    |      |      |
|-----|---|----|------|------|
| 頁   | 段 | 行  | 誤    | 正    |
| 二七六 | 上 | 二七 | 文學ノ力 | 文字ノ力 |
| 二七九 | 下 | 一六 | 一千万圓 | 一百万圓 |
|     |   |    | 二七九  | 下    |
|     |   |    | 一六   | 五百万圓 |
|     |   |    |      | 五万圓  |